Asanuma

～ログミーFinance × コエキク～

個人投資家様向け
会社説明会

株式会社 淺沼組

東証プライム市場 | 1852

2026年10月24日

目次

1 会社概要

1. 会社概要	p.4	4. 事業概要	p.7～
2. 沿革	p.5	5. 業績推移(連結)	p.11
3. 創業理念	p.6		

2 中期3ヵ年計画における取組み

1. 中期3ヵ年計画のテーマ	p.13	3. TOPICS	p.25
2. テーマ毎の取り組み	p.14～		

3 業績・株主還元

1. 2025年度 実績 - 業績ハイライト(連結)	p.27
2025年度 実績 - 受注の内訳(単体)～官庁/民間別	p.28
2. 2026年度 第1四半期 実績・進捗(連結)	p.29
3. 中期3ヵ年計画　業績計画(連結)	p.30
4. 株主還元　①配当金額・配当性向推移	p.31
②自己株式の取得・消却	p.32
③株価騰落率・PBR推移	p.33

Appendix p.34～

© 2026 Asanuma Corporation.

1 会社概要

© 2026 Asanuma Corporation.

1. 会社概要

At a glance

データで見る 浅沼組

（2026年3月31日現在） *1

ROE
10.9%

自己資本比率
42.1%

関連会社数
（非連結含む）
11社

従業員数
1,806名

営業利益
7,211百万円

営業拠点
22箇所
（内、グアム1箇所）

売上高 1,752億

94百万円

平均勤続年数
（単体）

21.8年

創業*2
134年

商号	株式会社 浅沼組
代表者名	代表取締役社長　浅沼 誠
創業	1892（明治25年）1月 20日
会社設立	1937（昭和12年）6月 15日
資本金	96億 1476万円
従業員数	連結：1,806名　個別：1,264名
主な関連会社	・浅沼建物 株式会社 ・SINGAPORE PAINTS & CONTRACTOR PTE.LTD. ・EVERGREEN ENGINEERING & CONSTRUCTION PTE. LTD ・ASANUMA CONSTRUCTION LTD., INTERNATIONAL 【以下はPFI事業*3】 ・宇都宮郷の森斎場 株式会社 ・桜井給食ファシリティーズ 株式会社 ・小田原斎場PFI 株式会社 ・長泉ハイトラスト 株式会社

*1 連結ベース　*2 2026年1月20日時点　*3 公共施設等の建設、運営および維持管理等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う事業手法

© 2026 Asanuma Corporation.

2. 沿革

江戸

1692（元禄5）
5代将軍徳川綱吉公の大老 柳澤吉保が武蔵国川越城を賜り、“城持ち大名”となった際に、初代淺沼仁左衛門が普請方を務める

1724（享保9）
大名 柳澤吉里の甲府から大和郡山への転封に際し、初代淺沼仁左衛門も普請方として随伴
以降、初代淺沼仁左衛門から8代目の淺沼幸吉まで、大和郡山藩の普請方を務める

明治

明治維新後、淺沼幸吉は大和郡山にとどまり、大工の棟梁として奈良付近の名刹社寺の造営や修繕、学校の建築などに従事する

1892（明治25）
創業
淺沼幸吉が、現在の奈良県大和郡山市に建築請負業の看板を揚げ、「淺沼組」を創業

大正

1926（大正15）
大阪へ進出

昭和

1937（昭和12）
会社設立
株式会社淺沼組を設立
社員数62名

1939（昭和14）
東京・名古屋へ進出

1963（昭和38）
株式上場（大証二部）

1969（昭和44）
大証一部への指定替えを経て東証一部へ上場

1977（昭和52）
完工高が1,000億円を超える

平成

1992（平成4）
創業100周年
Asanumaロゴの導入、企業コンセプト刷新

2021（令和3）
建物の価値を高める淺沼組リニューアル事業ブランド『ReQuality』を立ち上げ
創業130年にあたり、環境と健康を強く意識しつつ、「空間の質」「生活の質」を再構築する弊社独自技術の提案・採用を推進

令和

2022（令和4）
創業130周年
東証プライム市場に移行

2025（令和7）
日本国際博覧会（大阪・関西万博）開催
当社はオランダパビリオン建設を担当

2026（令和8）
TOPIX採用ルールの変更
当社は引き続きTOPIX構成銘柄に採用

■ 大阪万博プレスセンター（1969年）

■ 株式会社設立時から創業100周年まで使用していた社章

■ 大阪・関西万博　オランダパビリオン（2025年）

■ 奈良県立畝傍中学校（1896年）

■ パラオ 西太平洋戦没者の碑（1985年）

■ 京都大学稲盛財団記念館（2008年）
第51回BCS賞受賞

© 2026 Asanuma Corporation.

3. 創業理念

浅沼組の創業理念は、創業者である浅沼幸吉の「仕事が仕事を生む」という事業に対する信念を実現するために創業以来変わることなく受け継がれてきたものです。この信念は、立派な仕事をすることで会社の信用が生まれ、その信用こそが次ぎの仕事をいただく最大の資本になるという信念を意味することばです。

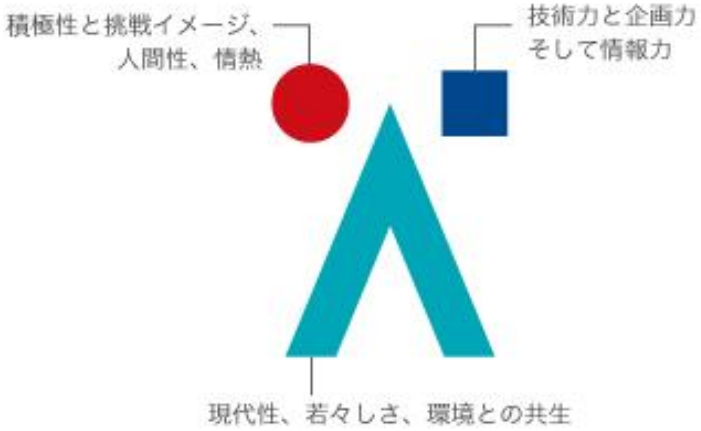
「和の精神」

- 何事にも、皆が協調性を以って取り組むこと、しかし、決してむやみに同調するのではなく、個々が主体性を失わず、自らも他人にも正直に、互いの考えをぶつけ合い、尊重し、理解しあうこと

「誠意・熱意・創意」

- 私利私欲を離れ、正直に熱心にことにあたる心（誠意）
- 何事に対しても常に挑戦する気持ち（熱意）
- 常に新しく独創的な考えを持つ意識（創意）

コーポレートマークについて



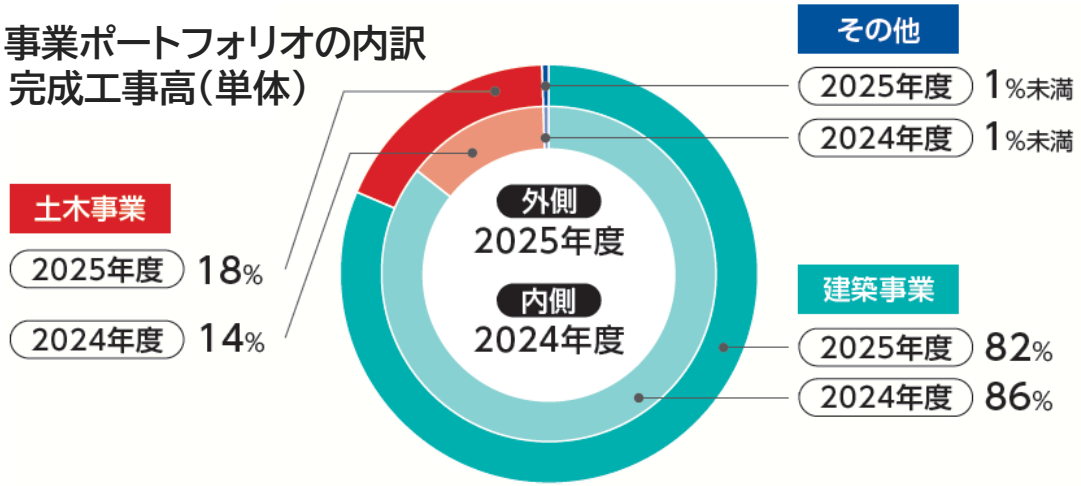
企業理念イメージ

© 2026 Asanuma Corporation.

4. 事業概要(国内)*1

建築事業

事業ポートフォリオの内訳 完成工事高(単体)



事業別完成工事高

(百万円)

	2024年度	2025年度
建築事業	134,318	130,144
土木事業	20,957	27,964
その他	445	488
合計	155,720	158,596

土木事業

*1 グアム営業所の完成工事高217百万円も含まれておりますが、それ以外は国内の建築となります

© 2026 Asanuma Corporation.

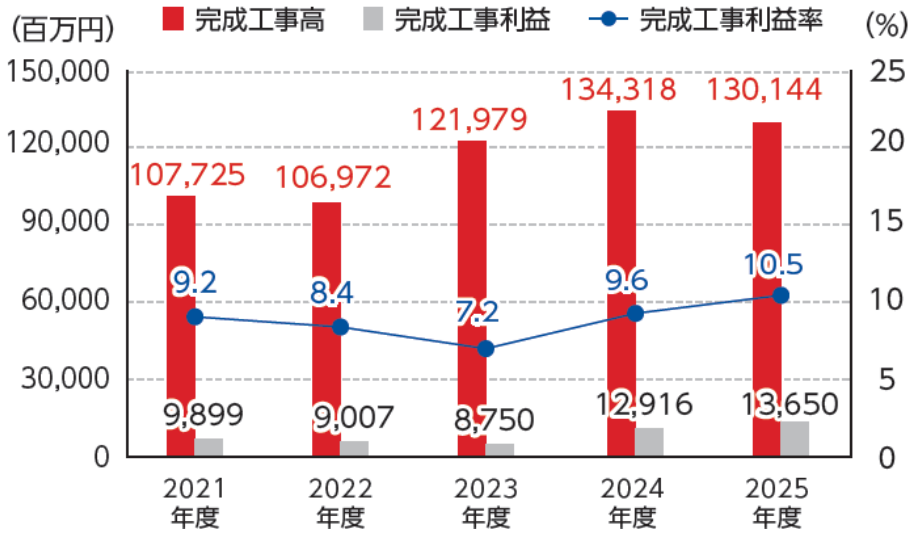
4. 事業概要　①建築事業（国内）*1

取締役 専務執行役員 建築事業本部長　**藤沢 正宏**

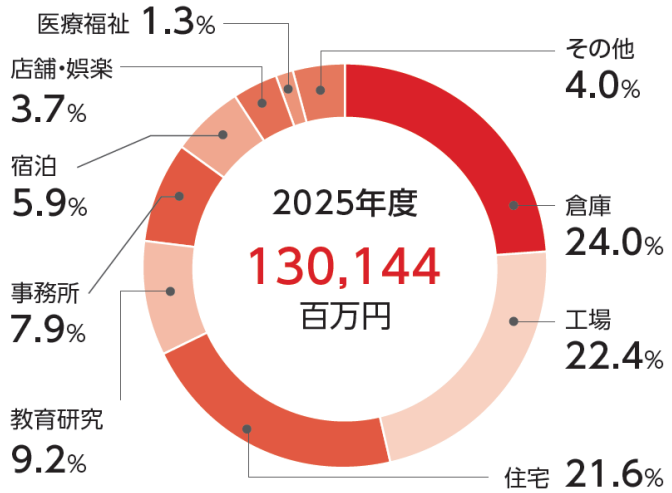
倉庫・物流施設、工場、医療・福祉施設、住宅、教育機関、事務所・庁舎、店舗、宿泊・娯楽施設などさまざまな新築工事、淺沼組オリジナルブランド「ReQuality」事業、耐震や免振といった防災技術やZEB/ZEHなどの省エネルギー関連技術を含めた環境配慮技術、建物の寿命を伸ばす長寿命化技術などの提案・採用を推進しています。
ASANUMA品質の確保と向上で顧客満足を高め、施策により品質強化に取り組みます。また、リニューアルではReQualityを推進し、環境技術でエコフレンドリーASANUMA21に貢献します。

2025年日本国際博覧会オランダパビリオン（大阪府）2025

● 完成工事高・完成工事利益（率）（単体）



● 完成工事高 用途別内訳（単体）



*1 グアム営業所の完成工事高217百万円も含まれておりますが、それ以外は国内の建築となります

© 2026 Asanuma Corporation.

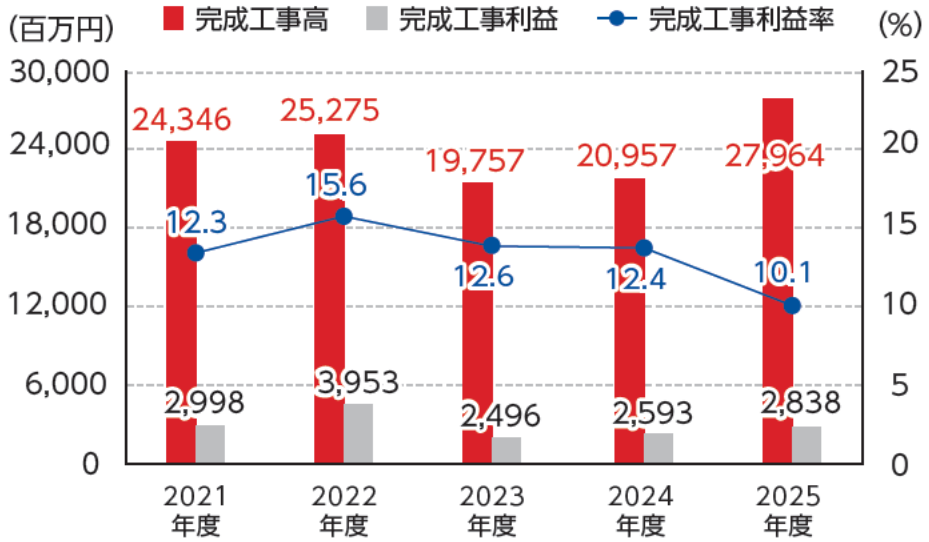
4. 事業概要　②土木事業（国内）

取締役 常務執行役員 土木事業本部長　**寺井 到**

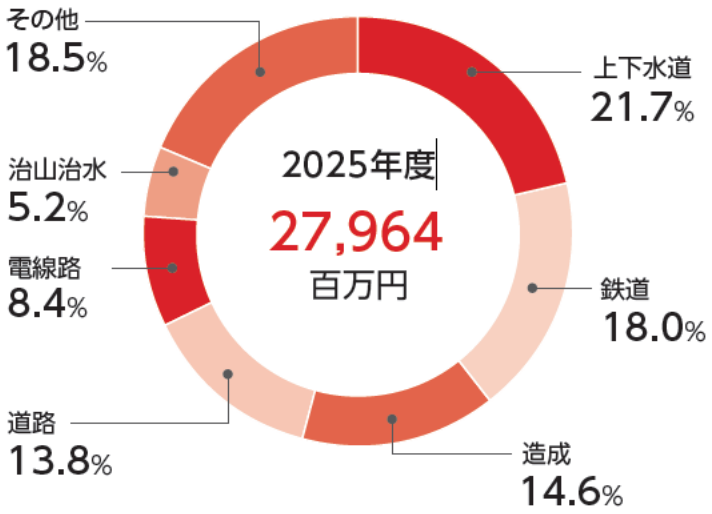
中期3ヵ年計画（2024-2026）の2年目にあたる2025年度は、「創業140年に向けた土木事業本部のありたい姿検討委員会」を毎月開催し、部門長が課題解決に向けた活発な議論を重ねました。そこで得られた対策は速やかに計画へ反映し実行するとともに、その効果も確認しました。特に新卒採用・キャリア採用・離職防止など土木独自のリクルート施策において大きく前進しました。
今後も良質なインフラの提供を通じて国民の安全・安心な暮らしを支え、すべてのステークホルダーから信頼・信用される企業を目指してまいります。

圏央道鬼怒川橋下部（茨城県）2022

● 完成工事高・完成工事利益（率）（単体）



● 完成工事高 用途別内訳（単体）



© 2026 Asanuma Corporation.

4. 事業概要 ③海外事業

戦略企画本部 海外事業部長 **上條 真吾**

淺沼組の海外事業は、1976年のグアム進出を起点に、ミクロネシアからASEANへと事業領域を拡大し、50年にわたり成長を続けてきました。現在はグアムとシンガポールを拠点に、建築を中心として修繕、塗装、設備、ビルメンテナンスなど幅広い事業を展開しています。2026年6月には「T3 International」が加わり、シンガポールでグループ3社体制を構築し、さらなる事業基盤の強化を実現しました。
50周年を迎えた今、培った技術力と信頼を基盤に、グアム事業とシンガポール事業の成長を推進し、海外事業をグループの成長を支える柱として発展させるべく、全員一丸となって挑戦を続けてまいります。

Costa Rhu 外壁再塗装工事

SINGAPORE シンガポール

SINGAPORE PAINTS & CONTRACTOR PTE. LTD.
建物塗装・修繕工事請負業
資本金:100万SGD 出資比率:100%

(損益)	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 実績	単位:百万円 前期比 %
売上高	3,358	3,758	2,896	△22.9
営業利益	392	284	167	△41.3
経常利益	397	307	165	△46.3
当期純利益	333	255	132	△48.0
(貸借)	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 実績	前期比 %
総資産	2,558	2,521	2,796	—
有利子負債	135	0	0	—
純資産	958	1,294	1,352	—

EVERGREEN ENGINEERING & CONSTRUCTION PTE. LTD.
設備工事業、建物メンテナンス業
資本金:450万SGD 出資比率:100%

(損益)	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 実績	単位:百万円 前期比 %
売上高	6,426	6,708	12,968	+93.3
営業利益	1,638	895	1,467	+63.8
経常利益	1,753	1,058	1,606	+51.8
当期純利益	1,449	891	1,340	+50.4
(貸借)	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 実績	前期比 %
総資産	4,979	6,800	8,963	–
有利子負債	–	–	–	–
純資産	3,833	5,047	6,150	–

T3 International Pte. Ltd.」の株式を取得(子会社化)
2026.05.19開示

「ASEAN地域におけるリニューアル事業の強化」施策の一つとして、シンガポールで建物の外壁・内壁等塗装事業を展開しているT3社を子会社化

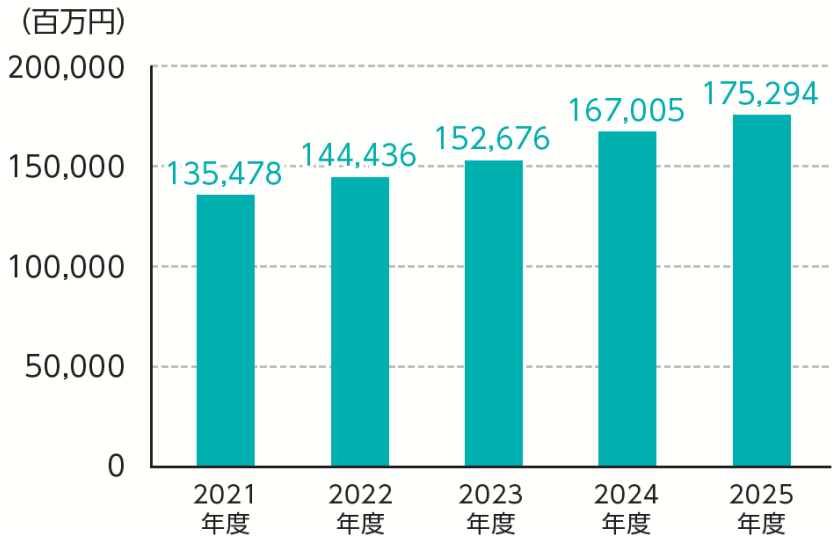
GUAM グアム

Asanuma Corporation グアム営業所	建築土木請負

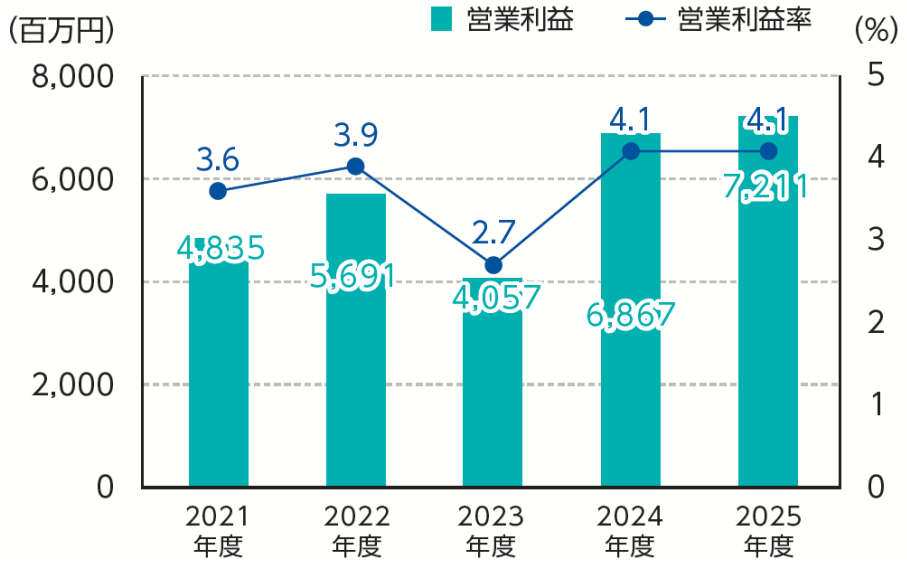
© 2026 Asanuma Corporation.

5. 業績推移(連結)

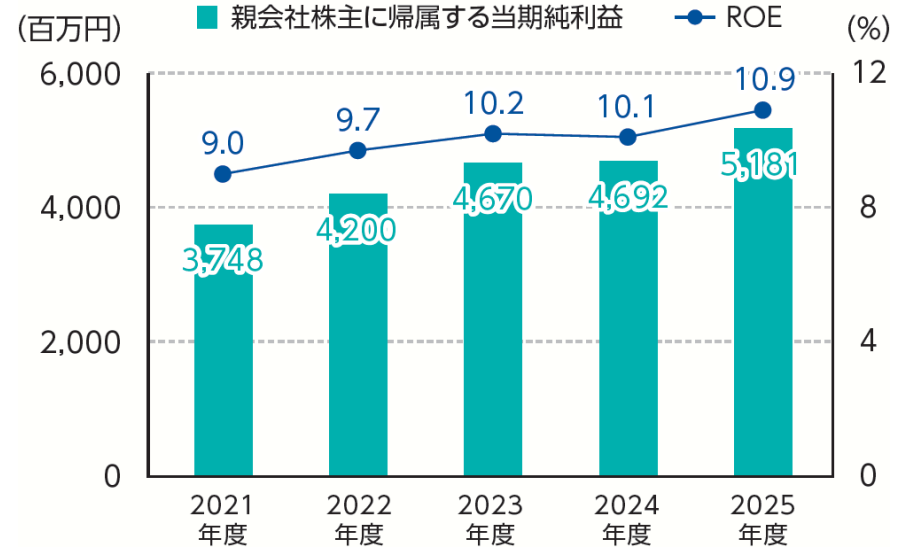
売上高



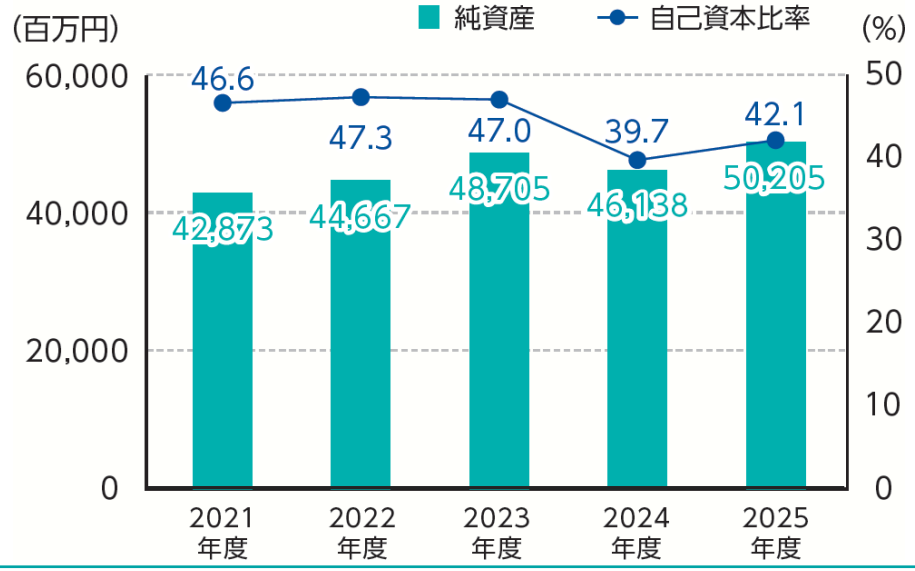
営業利益(額・率)



親会社株主に帰属する当期純利益・ROE



純資産・自己資本比率



© 2026 Asanuma Corporation.

2 中期3ヵ年計画における取組み

© 2026 Asanuma Corporation.

1. 中期3ヵ年計画のテーマ

- 3ヵ年で注力することとして、6つのテーマを選定

国内建設業界を取り巻く環境

- 高齢化・人材不足
- 長期的な建設投資の減少
- サステナビリティ経営の要請の高まり

長期ビジョン*2

「顧客・協力会社、株主、社員の満足度の向上、および地球環境・社会への貢献に邁進する企業」

創業理念

「和の精神」「誠意・熱意・創意」

*1 主に建築(新築)を指す
*2 創業140年時点(2031年度(2032年1月20日))でありたい姿。2024年4月より長期ビジョン・理念・方針などを修正

© 2026 Asanuma Corporation.

2.テーマ毎の取り組み(1/6)

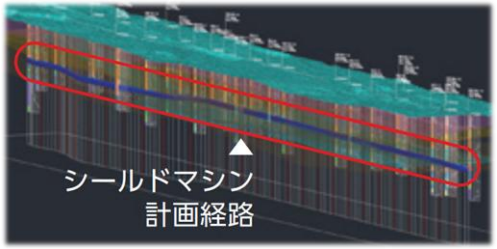
テーマ（3年間で注力すること）	主な取り組み
1 国内コア事業の強化	**建築事業：戦略的受注活動および現場の生産性向上強化に資する取り組みの実施** • **選別受注の高度化・強化** 受注時利益率や作業所の4週8閉所の実現、施工体制の確保等の諸条件を加味した案件に限定 また、受注工事種別や官庁/民間比率等の目標ポートフォリオを設定することで、収益性と事業の安定性を両立した受注活動を展開 **収益性・施工性 や 技術力 等をバランスよく** **施工効率が高い** S(鉄骨)造　工場・倉庫等 **技術者の育成、技術力の向上・伝承** RC(鉄筋コンクリート)造　住宅、学校、病院等 • **建物ライフサイクルに沿った提案力の強化** 竣工後の建物管理・アフターメンテナンス機能の強化を目的とした組織再編を実施し、「GOOD CYCLE SERVICE部」を新設 建物劣化診断を起点とした提案により、大手メーカー様等との新規取引・受注につながるパイプラインを構築 • **協力会社を含めた現場の生産性向上に資するDX施策の推進　[建築・土木横断]** 現場社員および協力会社が利用する複数のシステム(労務安全管理・入門管理・作業日誌・作業間調整等)を1つのプラットフォーム(「建設サイト・シリーズ」)に集約するプロジェクトを推進しており、2026年度上期に移行完了。当該基盤へのAI活用も視野に入れ、段階的な現場DXを推進中 **協力会社との連携のさらなる強化へ**

© 2026 Asanuma Corporation.

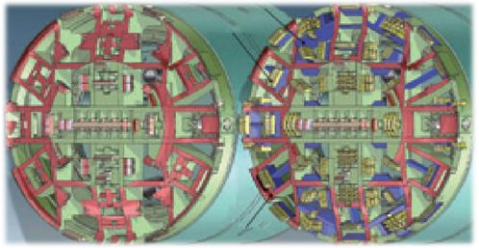
2.テーマ毎の取り組み(1/6)

テーマ（3年間で注力すること）	主な取り組み
1 国内コア事業の強化	土木事業：組織改編・組織風土改革も含めた抜本的改革の実施

- **受注力強化を目的とした組織改編・人員強化**
  技術設計および工務(積算部署)の全国統括部署を設置し、全国の情報を一元化
  総合評価案件情報を集約し提案を作成する部署を新設
- **受注増を見越し、土木部門独自にリクルーター機能を強化**
  新卒採用に加え、中途採用および離職率低減に向けた施策も強化。結果、採用人数も大幅増
- **作業所支援体制拡充によるDX技術の向上**
  作業所支援部署の人員を増強し、まずは3D技術の現場への導入を主軸に技術支援を推進
  今後は3D技術に留まらず、現場負担軽減と施工の高度化に資する支援を実施予定



地中の可視化



シールドマシン　カッターヘッド補修

中期3ヵ年計画の施策

- 作業所業務支援体制の強化
- 注力・得意分野の追求と開拓
- 品質確保・向上に向けた仕組みの強化
- 協力会社との協働強化

© 2026 Asanuma Corporation.

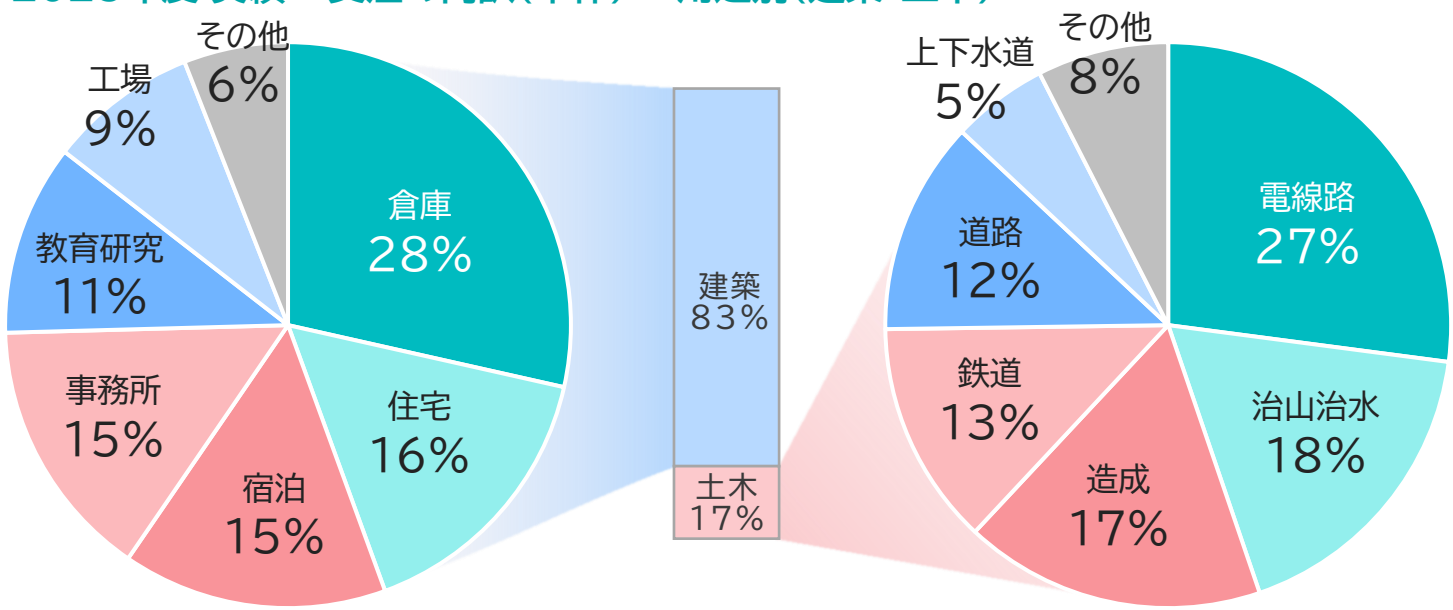
2.テーマ毎の取り組み(1/6)

テーマ（3年間で注力すること）	主な取り組み

1

国内コア事業の強化

- 2025年度 実績 - 受注の内訳(単体) ～用途別(建築・土木)



主な受注工事	建築事業	倉 庫	(仮称)DPLつくば中央Ⅱ　新築工事
		宿 泊	(仮称)大阪IRプロジェクト　ブロックB本体建物工事
	土木事業	電 線 路	日高市上鹿山地内供給管路工事
		治山治水	令和7-11年度　山鳥坂ダム本体建設工事(第1期)工事

中期3ヵ年計画の施策

- 作業所業務支援体制の強化
- 注力・得意分野の追求と開拓
- 品質確保・向上に向けた仕組みの強化
- 協力会社との協働強化

© 2026 Asanuma Corporation.

2.テーマ毎の取り組み（2/6）

テーマ（3年間で注力すること）	主な取り組み
2 リニューアル事業の強化	なぜリニューアル事業に注力するのか

なぜリニューアル事業に注力するのか

1 環境配慮・モノへの愛着に対する社会的意識の高まりに応える

CO2削減等の環境保全に寄与
省エネ・脱炭素対応技術提案
モノを長く使い続けることの価値へ

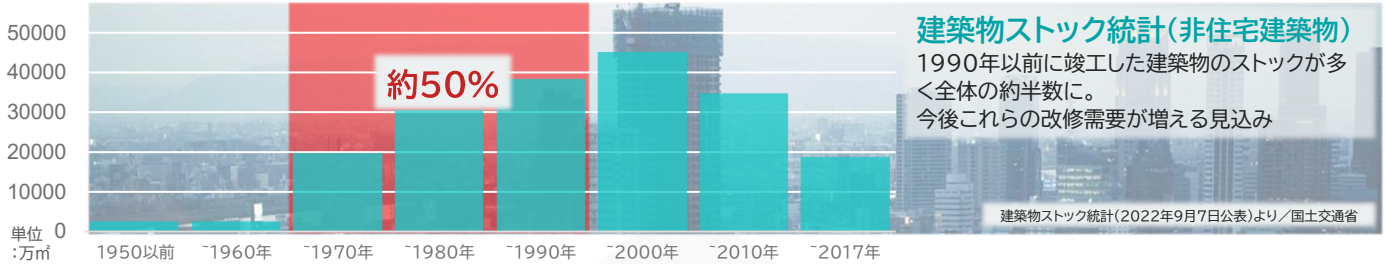
2 中長期的な人口減少による需要の確保

中長期的な人口減少・物価上昇を背景に、コスト優位性からも中規模ビルの改修増を見込む

3 収益性の確保

建物を利用しながらの工事や建築当初の図面がない等、高難易度柔軟対応や付加価値提案等の現場力、追加工事。

工期が短いため、建設資材や労務費の価格変動による影響を抑えやすい



当社の優位性

◆ 環境配慮型、人の健康促進に寄与、デザイン性が高い提案が可能

付加価値の高い提案

◆ 大手が手掛けない中規模案件が多く、柔軟な対応力を持つ当社に優位

案件サイズ

◆ 既存建物や仕上げ材等を撤去・解体した際の状況判断力・対応力が必要
リニューアル専業会社ではなくゼネコンが故に、構造に関する内容も含めた総合的な視点での対応が可能

◆ 「（建物利用者の）居ながら工事」も多いため、リニューアル独特の技術を要する場面が多い
（例：外周部からの補強する構法、工程の細分化、騒音・粉塵対策等）

◆ 技術研究所を有しており、技術力での対応が可能

対応力・技術力

© 2026 Asanuma Corporation.

2.テーマ毎の取り組み（2/6）

テーマ（3年間で注力すること）	主な取り組み

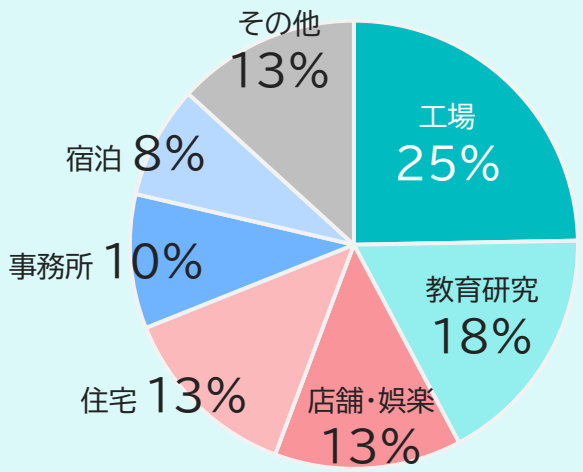
2 リニューアル事業の強化

国内リニューアル

(単位:百万円)	2023年度	2024年度	2025年度	
	実績	実績	実績	前期比
受注高	34,743	17,285	**27,403**	+10,118
売上高	19,887	24,193	**20,953**	▲3,239
完成工事利益	2,312	3,763	**3,618**	▲84
率	11.6	15.3	**17.3**	+2.0P
営業利益	1,115	2,311	**2,265**	▲46

受注は大口案件もあり堅調推移。2024年度受注が2023年度比減少した影響により、2025年度の売上が2024年度比減少したが、複数大型工事の竣工により利益率は上昇

国内リニューアル 完工高 ポートフォリオ



海外リニューアル（リニューアル子会社2社業績）

(単位:百万円)	2023年度	2024年度	2025年度	
	実績	実績	実績	前期比
受注高	9,344	11,290	**8,958**	▲2,332
売上高	9,785	9,679	**11,559**	+1,879
完成工事利益	2,607	2,020	**2,439**	+418
率	26.6	20.9	**21.1**	+0.2
営業利益*1	1,683	798	**1,285**	+486

受注はEvergreenの2024年度超大口受注の剥落により前期比減。Evergreenの業績が牽引し増収増益

「T3 International Pte. Ltd.」子会社化

「ASEAN地域におけるリニューアル事業の強化」施策の一つとして、シンガポールで建物の外壁・内壁等塗装事業を展開しているT3社の株式を取得、子会社化

T3 International Pte. Ltd.
建物の外壁・内壁等塗装事業
資本金：50万SGD

（損益）	2022/12期 実績	2023/12期 実績	2024/12期 実績
売上高	1,699	1,586	1,767
営業利益	303	191	126
当期純利益	276	166	108
（貸借）	2022/12期 実績	2023/12期 実績	2024/12期 実績
総資産	713	848	984
純資産	556	714	761

参考：換算レート　1 SGD＝123.74円（2026年3月末レート）

*1　のれんを差し引いた金額。KPIの値の構成要素としての海外リニューアル営業利益は、のれんを差し引いた数値を用いているため

© 2026 Asanuma Corporation.

2.テーマ毎の取り組み（2/6）

テーマ（3年間で注力すること）	主な取り組み
2 リニューアル事業の強化	• **環境配慮技術によるGOOD CYCLE BUILDING** 土や木材などの自然素材を積極的に現代の建築に取り入れていくことで、脱炭素、SDGsへの貢献を図るだけでなく、デザイン性や付加価値を向上できるよう、研究中 その一環として開発した**「還土（かんつち）ブロック」「立体木摺土壁」が特許*1を取得**

還土ブロック

立体木摺土壁

現場発生土の新たな利活用を図る

名古屋支店1階　応接室

千客万来2階「芋松」店舗

*1 還土ブロック（特許：7676190、7676191）、立体木摺土壁（特許：7723873）

© 2026 Asanuma Corporation.

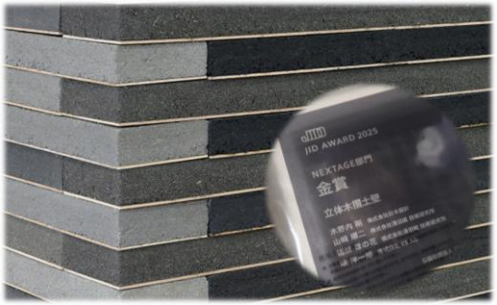
2.テーマ毎の取り組み(2/6)

テーマ（3年間で注力すること）	主な取り組み
2 リニューアル事業の強化	・「還土ブロック」が土EXPO2025 OSAKAで「土とみどりのイノベーションアワード」資源循環部門を受賞

・「立体木摺土壁」を取り入れた店舗が「2025 年グッドデザイン賞」を受賞

・「立体木摺土壁」がJID AWARD 2025のNEXTAGE部門において金賞を受賞

千客万来2階「芋松」店舗



中期3ヵ年計画の施策

- リニューアル事業ブランド「ReQuality」の強化
- ASEAN地域のリニューアル事業の強化
- 自然素材による技術研究所ZEB改修
- リニューアル関連技術の実用化・促進（高度な建物劣化診断技術等）

© 2026 Asanuma Corporation.

2.テーマ毎の取り組み(3/6)

テーマ（3年間で注力すること）	主な取り組み

3 人材の獲得・確保・育成

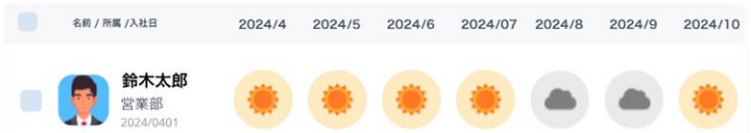
平均勤続年数 21.8 年（ ゼネコン大手22社平均勤続年数ランキング*1 22社平均勤続年数 17.4年 1位 ）

- **【獲得】**
  初任給を30万円に引き上げ
  人材確保強化に向け、4年連続の賃上げも実施
  各種福利厚生の充実化
  奨学金返還支援制度の導入、団体3大疾病保障保険の導入（保険料は当社負担）

新卒+中途採用	2023	2024	2025
目標	65人	65人	75人
実績*2	31人	56人	87人

- **【確保】**
  離職予防ツール（HR OnBoard）を導入
  天気スタンプ回答型ウェブアンケートツール
  離職リスクの可視化と予防を実施
  （土木部門は新入社員のみならず若手社員にも実施）

	2023 実績	2024 実績	2025 実績
離職率（定年退職者を除く）	2.8%	2.8%	2.9%



- **【育成】 研修の充実化**
  新入社員研修の長期化・充実化
  通常の新入社員向けの研修に加え、資格取得のための研修プログラムを実施（2026年度からは1ヵ月延長）
  キャリア形成を促す研修の新設
  主体的成長を志向する風土を醸成することを目的とし導入（2025年度は対象者を限定しトライアル実施）

中期3ヵ年計画の施策

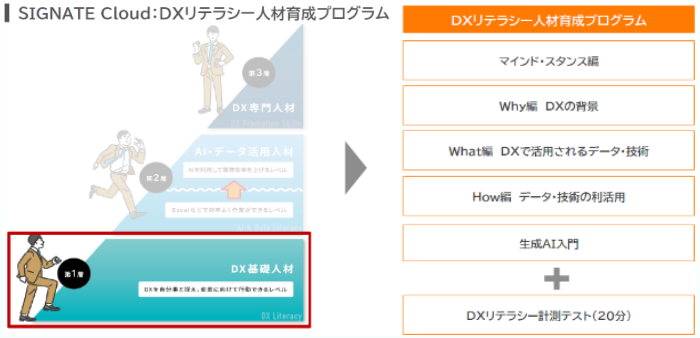
- 採用施策の強化
- 多用な人材の確保（女性、外国籍、高年齢者等）
- 休暇取得・残業縮減の推進
- 作業所の労働環境の改善、閉所の推進
- 研修内容の見直し、強化
- 当社のブランディング・PRの強化

*1 2026年3月31日時点
*2 次年度4月1日入社の新卒採用者数を含んでおります

© 2026 Asanuma Corporation.

2.テーマ毎の取り組み(4/6)

テーマ（3年間で注力すること）	主な取り組み
4 DX推進	・全社員を対象としたDX研修を実施 DXリテラシーの向上と意識改革を目的にDX人材育成サービス「SIGNATE Cloud」の研修「DX リテラシー人材育成プログラム」を導入 DX推進人材を育成し、社内変革の基盤を構築 今後も業務効率化・生産性向上・持続可能な経営基盤の確立に向け、DXをさらに推進する ・経済産業省が定める「DX認定事業者*1」の認定を取得



DX認定

施策		2024年度	2025年度	2026年度
[全社] 人材育成	DX人材育成のための研修	検討・準備	運用	
[全社] インフラ整備	業務用スマホの全社導入	検討・準備	運用	
[全社] 文書管理	文書管理システムの開発・導入	検討・準備	運用開始	
[全社] 事務効率化	経費管理システムの導入	検討・準備		運用
[全社] 事務効率化	請求書システムの導入	検討・準備		運用
[作業所] 業務効率化	現場用チャットツールの導入	運用		
[作業所] 業務効率化	作業所原価管理システムの刷新	検討・準備	運用	
[作業所] 業務効率化	現場用複数システムの統合・AI等を活用した現場DX推進	検討・準備	運用開始	
AI	AI搭載システムの活用（技術提案・設計等）	検討・準備	試行運用	

中期3ヵ年計画の施策

- DX推進体制の強化
- 施工・品質・安全管理におけるDX推進
- 管理業務・社内業務におけるDX推進
- 先進IT技術実現に向けた情報収集・試行（RXコンソーシアム*2での活動）
- BIM・CIM*3の更なる活用

*1 DX認定事業者とは、デジタル技術による社会変革に対して経営者に求められる事項をとりまとめた「デジタルガバナンス・コード」に対応し、DX推進体制が整備されている企業を国が認定する制度。2025年3月1日付けで取得。
*2 施工段階で必要となるロボット技術やIoT関連アプリケーション等の技術の共同開発、既開発技術の共同利用、情報提供・発信をする組織。正会員29社、協力会員262社からなる（2025年5月21日現在）
*3 Building Information Modeling、Construction Information Modeling。3次元建物モデルに属性情報を持たせたもの。企画・設計・施工・維持管理等にて一貫して使用可能

© 2026 Asanuma Corporation.

2.テーマ毎の取り組み(5/6)

テーマ（3年間で注力すること）	主な取り組み

5

ガバナンス・
コンプライアンス・
リスク管理の強化

- 【ガバナンスの強化】

政策保有株式の銘柄数減少	上場株式の純資産比率
▼ 1 銘柄削減	14.0%

- 【コンプライアンスの強化】
  全役職員を対象にコンプライアンス・ITセキュリティ研修をeラーニングも用いて実施
- 【リスク管理の強化】
  実効性のあるBCP(事業継続計画)運用
  BCPに特化したコンサルティング会社と連携し、BCPマニュアルを作成

情報セキュリティ体制の強化

人権デュー・ディリジェンス実施中
2022年7月に「淺沼組人権方針」を策定
2026年度に、協力会社に対し定期的なアンケート調査を実施

遵守状況の確認と人権リスクの予防・軽減を図ってまいります

外国人労働者の安全教育対策
協力会社と協働で、5か国語に対応した安全教育マニュアルを作成

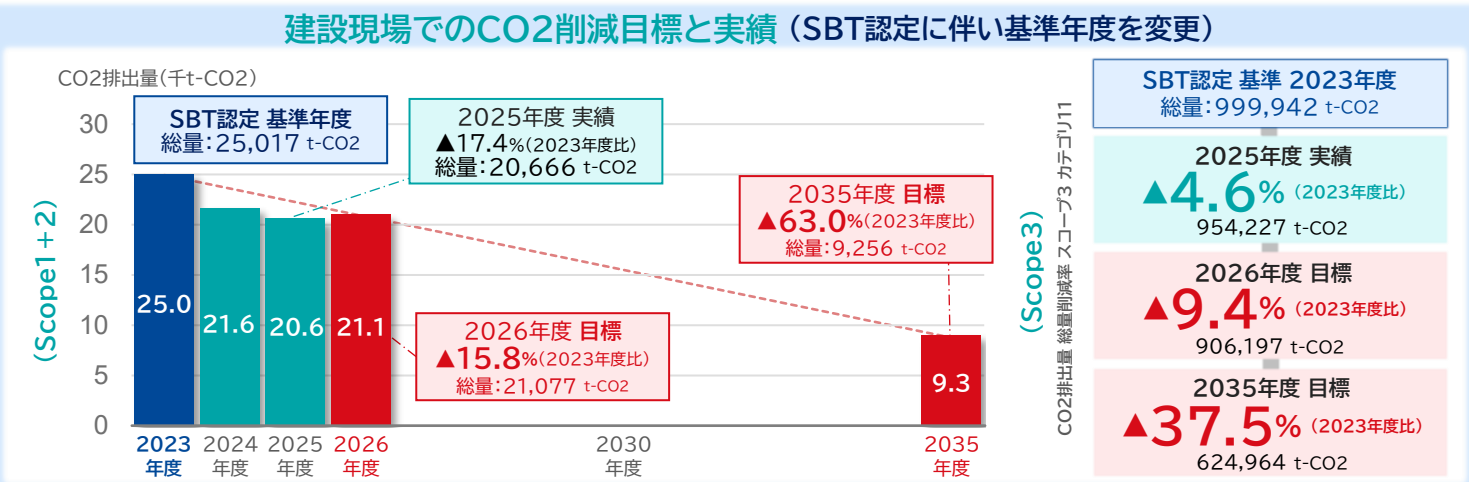
中期3ヵ年計画の施策

- ガバナンスの更なる強化(海外子会社含む)
- 株主・投資家とのコミュニケーションの強化
- コンプライアンスへの対応、意識の向上
- 安全対策の強化(高年齢労働者)、意識の向上
- 情報セキュリティの体制・システムの強化、意識の向上

© 2026 Asanuma Corporation.

2.テーマ毎の取り組み(6/6)

テーマ（3年間で注力すること）	主な取り組み
6 環境・社会への貢献	・SBT*1認定の取得に向け、第三者保証を取得 2025年度のGHG(温室効果ガス)排出量算定結果について第三者保証取得*2 **淺沼組の温室効果ガス削減目標がSBT認定を取得** ・作業所仮設電気・自社ビル3拠点(技術研究所、名古屋支店、東北支店)に「再生可能エネルギー100%電力」を導入 CO2削減へ



中期3ヵ年計画の施策

- 環境配慮・循環・健康に関する取り組みの推進
- 環境配慮等の高付加価値な設計・資材等の提案
- 建築技術における健康科学の検証と展開
- SBT認定の取得
- ZEB・ZEH推進基盤の整備・強化

*1 SBTとは「Science Based Targets」の略であり、パリ協定が求める水準と整合した、5年～10年先を目標年として企業が設定する、温室効果ガス排出削減目標のこと(出展: 環境省HP)。外部機関による認証を取得(2025/11/24)
*2 ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社による第三者保証を取得

© 2026 Asanuma Corporation.

3.TOPICS

当社のブランディング・PRの強化

相葉雅紀さん主演映画
『4アウト-もう一度、プレイボール-』に協賛

2026 年 11 月 6 日(金)に全国公開

原作「4アウト－ある障害者野球チームの挑戦」書影

2018 年より「日本身体障害者野球連盟」への協賛を通じ、身体障害者野球を継続的に支援してきました
同競技のさらなる発展を通じて、障がいの有無に関わらず誰もが情熱を持って挑戦し共に輝ける社会の実現を目指し、社会貢献に邁進してまいります

『4アウト－もう一度、プレイボール－』公式サイト https://4out-movie.com/ (外部サイトへ遷移します)

3 業績・株主還元

© 2026 Asanuma Corporation.

1. 2025年度 実績 - 業績ハイライト(連結)

- 受注・売上・利益ともに前期比増加。2月10日開示の修正計画はわずかに未達であるものの、期初計画は達成
  結果、配当は期初計画41.5円/株より45.0円/株に増配予定(+3.5円/株)
- ROE・ ROIC共に前期比・計画比増。それぞれ株主資本コスト5.1%および資本コスト(WACC)4.5%*1を上回る水準

(単位:百万円)		2024年度 実績	2025年度 期初計画	2025年度 修正計画*2	2025年度 実績	前期比(%)	期初計画比(%)	修正計画比(%)
連結	受注高	180,624	151,500	197,500	**217,155**	+20.2	+43.3	+10.0
	売上高	167,005	170,300	174,600	**175,294**	+5.0	+2.9	+0.4
	売上総利益	17,991	18,320	19,940	**19,592**	+8.9	+6.9	△1.7
	同率	10.8%	10.8%	11.4%	**11.2%**	+0.4P	+0.4P	△0.2P
	販管費	11,124	11,290	12,390	**12,380**	+11.3	+9.7	△0.1
	営業利益	6,867	7,030	7,550	**7,211**	+5.0	+2.6	△4.5
	同率	4.1%	4.1%	4.3%	**4.1%**	0.0P	0.0P	△0.2P
	親会社株主に帰属する当期純利益	4,692	4,770	5,000	**5,181**	+10.4	+8.6	+3.6
	純資産*3	45,708	47,000	48,200	**49,759**	+8.9	+5.9	+3.2
	繰越工事高	199,833	–	–	245,891	+23.0	–	–
ROE		10.1%	10.3%	10.6%	**10.9%**	+0.8P	+0.6P	+0.3P
ROIC		7.1%	7.2%	7.6%	**7.8%**	+0.7P	+0.6P	+0.2P
配当性向		70.4%	70.1%	70.1%	**70.0%**	△0.4P	△0.1P	△0.1P
年間配当(額)*4		41.0円	41.5円	43.5円	**45.0円**	+4.0円	+3.5円	+1.5円

*1 2026年3月末時点。CAPMにて算出 *2 2026年2月10日開示の修正後の数値を記載 *3 非支配株主持分除く *4 2024年度より中間配当制度を導入

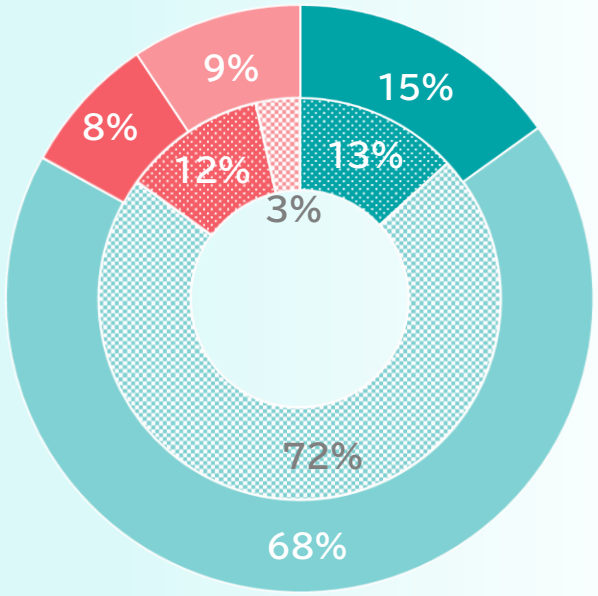
© 2026 Asanuma Corporation.

1. 2025年度 実績 – 受注の内訳(単体) ～官庁/民間別

- 単体(国内*1)の受注高は前年同期比大幅増(+23.0%)
- 建築分野においては、注力分野である官庁の受注が前期比で増加(+40.4%)
- 土木分野においては、大型受注もあり民間の受注が前期比大幅増加(+226.8%)

(単位:百万円)

			2024年度	2025年度	
			実績	実績	前期比(%)
国 内 (当社単体)	建築・土木 計		169,334	208,197	+23.0
		官庁	41,934	47,378	+13.0
		民間	127,400	160,818	+26.2
	建 築		143,828	172,786	+20.1
		官庁	22,381	31,428	+40.4
		民間	121,446	141,357	+16.4
	土 木		25,506	35,410	+38.8
		官庁	19,552	15,949	△18.4
		民間	5,954	19,460	+226.8
海外子会社			11,289	8,957	△20.7
連 結			180,624	217,155	+20.2



外側:2025年度
内側:2024年度

- 建築 官庁
- 建築 民間
- 土木 官庁
- 土木 民間

*1 グアムの数値も含まれるが、99%以上が国内案件。次頁以降同様

© 2026 Asanuma Corporation.

2. 2026年度 第1四半期 実績・進捗（連結）

- 第1四半期は、売上高を除き、受注高・各利益ともに前年同期を上回り、繰越工事高も着実に積み上がる良好な進捗
- 受注高･･･国内建築における事務所（データセンター）や教育研究施設等の大型工事の受注により、前年同期比+10,119百万円（同+18.0%）と好調に推移
- 売上高･･･国内建築において前年同期における大型工事（倉庫）完工の反動があり、前年同期比△5,337百万円（同△12.5%）
- 利　益･･･売上高は減少したものの、完成工事利益率が前年同期比+2.5P改善し、売上総利益額は前年同期比+416百万円（同+10.4%）
  また、貸倒引当金繰入額等の減少による販管費の減少も相まって、営業利益・経常利益・四半期純利益ともに前年同期比大幅増

（単位：百万円）		2025年度 実績	1Q 実績	進捗（%）	2026年度 計画	1Q 実績	進捗（%）	前期比	（%）
連結	受注高	217,155	56,122	37.0	165,400	66,241	40.0	+10,119	+18.0
	売上高	175,294	42,707	25.1	175,500	37,369	21.3	△5,337	△12.5
	売上総利益	19,592	4,005	21.9	20,260	4,421	21.8	+416	+10.4
	同率	11.2%	9.4%	–	11.5%	11.8%	–	+2.4P	–
	販管費	12,380	2,893	25.6	12,480	2,734	21.9	△159	△5.5
	営業利益	7,211	1,112	15.8	7,780	1,687	21.7	+575	+51.7
	同率	4.1%	2.6%	–	4.4%	4.5%	–	+1.9P	–
	親会社株主に帰属する四半期純利益	5,181	712	14.9	5,180	1,138	22.0	+426	+59.8
	純資産*1	49,759	44,225	–	51,200	48,504	–	+4,278	+9.7
	繰越工事高	245,891	213,617	–	–	275,729	–	+62,112	+29.1
ROE		10.9%	–	–	10.3%	–	–		–
ROIC		7.8%	–	–	8.0%	–	–		–
配当性向		70.0%	–	–	70.1%	–	–		–
配当（額）		45.0円*2	–	–	45.0円*3	–	–		–

*1 非支配株主持分除く　*2 2024年度より中間配当制度を導入。2025年度は配当金額45.0円の内、第2四半期末に16.0円の中間配当を実施
*3 2026年度は配当予想金額45.0円の内、第2四半期末に17.0円の中間配当を実施予定

© 2026 Asanuma Corporation.

3. 中期3ヵ年計画　業績計画(連結)

- 2026年度計画は、2025年度対比 受注は減少なるも、売上・利益・配当は概ね横ばい。2023年度比では増収・増益・増配の計画
- 引き続き資本効率を意識した経営を行い、PBRは1倍以上を維持

(単位:百万円)

		2023年度 実績 前中期3ヵ年計画 最終年度	2024年度 実績 中期3ヵ年計画 1年目	2025年度 実績 中期3ヵ年計画 2年目	2026年度 計画 中期3ヵ年計画 3年目	2026年度計画の補足 (2025年度比)
連結	受注高	177,366	180,624	217,155	165,400	・一層の「選別受注」を推進。また景気の不透明感やIR(統合型リゾート)等の大型案件の剥落も加味し減少
	売上高	152,676	167,005	175,294	175,500	・豊富な繰越工事の着実な進捗により、前年度並みを維持
	売上総利益	14,149	17,991	19,592	20,260	・引き続き選別受注の徹底、リニューアル事業等の利益率の高い事業の強化、DX推進等による業務効率化により、売上総利益率増加(+0.3P) ・ベア等による人件費増加も加味するも、販管費は前年度比同水準であり、営業利益率も増加する計画(+0.3P) ・2025年比は税効果会計を享受、2026年度は税率増にて、当期純利益ベースでは2025年度比同水準
	同率	9.3%	10.8%	11.2%	11.5%	
	営業利益	4,057	6,867	7,211	7,780	
	同率	2.7%	4.1%	4.1%	4.4%	
	親会社株主に帰属する当期純利益	4,670	4,692	5,181	5,180	
	純資産*1	47,622	45,708	49,759	51,200	・利益により着実に積み上げ
ROE		10.2%	10.1%	10.9%	10.3%	・ROE・ROIC共に株主資本コスト5.1%・WACC4.5%*2以上を維持、資本効率を意識した経営を継続
ROIC		4.5%	7.1%	7.8%	8.0%	
配当性向		70.0%	70.4%	70.0%	70.1%	・配当性向は前中期計画に引き続き70%を維持 ・配当額については、2026年度に向け9期連続で当初計画比増配予定、結果的に累進配当となる予定
年間配当(額)*4		40.6円 (203.0円)*3	41.0円	45.0円	45.0円	

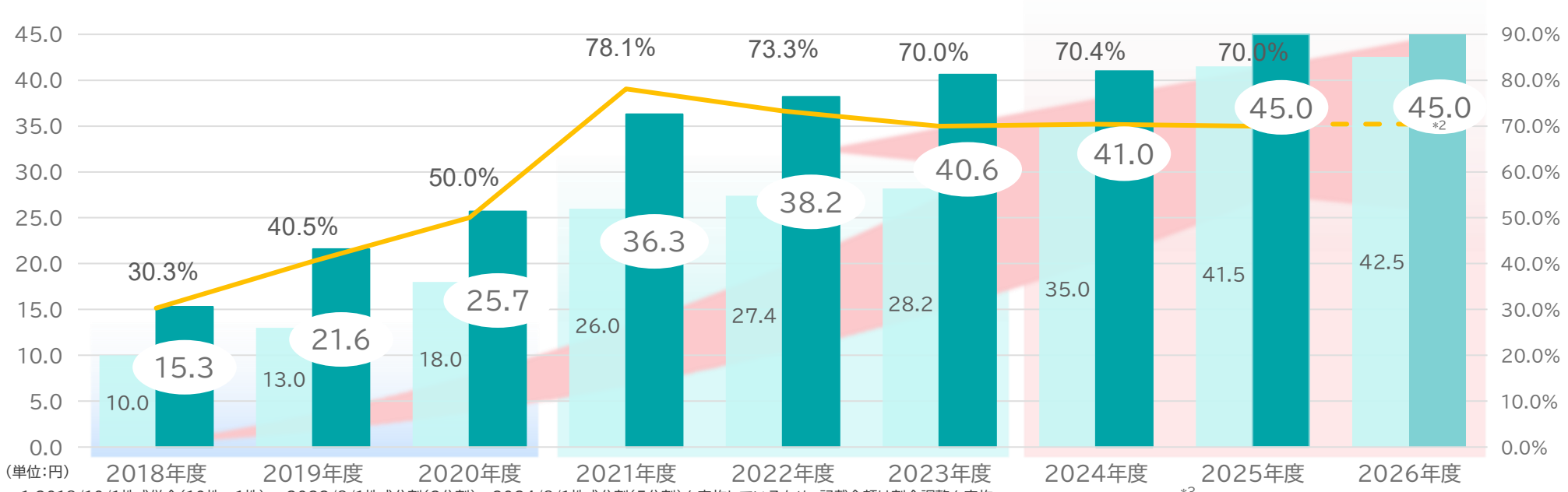
*1 非支配株主持ち分除く　*2 2026年3月31日基準。CAPMにて算出　*3 株式分割前の金額　*4 2024年度より中間配当制度を導入

© 2026 Asanuma Corporation.

4. 株主還元 ①配当金額・配当性向推移

- 配当は、2026年度に向け9期連続で当初計画比増配予定、結果的に累進配当となる予定
- 現中期3ヵ年計画の株主還元計画は、「配当性向70%以上の維持」。更に、株式を購入しやすい環境とすべく、株式の分割と中間配当制度を導入

配当金額・配当性向推移



*1 2018/10/1株式併合(10株→1株)、2022/8/1株式分割(2分割)、2024/8/1株式分割(5分割)を実施しているため、記載金額は割合調整を実施
*2 中間配当17.0円、期末配当28.0円の計画
*3 2018年度、2021年度、2024年度を初年度とした各中期3ヵ年計画にて開示した当初の計画。但し、2025年度の配当金額は中期3ヵ年計画にて開示していないため、2025/5/14付の決算短信にて開示した予想金額を記載

中期3ヵ年計画

方針	効果的な投資への資金を確保しつつ、前中期3ヵ年計画での配当基準である「配当性向70%以上」を維持
配当基準	基準: 配当性向70%以上
配当額(円)	最終年度 45.0円 (2026年5月13日公表)
その他	・株式を分割(5分割)(効力発生日:2024年8月1日) ・中間配当制度を導入(2024年度より導入)

© 2026 Asanuma Corporation.

4. 株主還元 ②自己株式の取得・消却

- 2026年8月6日付で、自己株式の取得および一部消却を取締役会にて決議
- 資本コストや株価を意識した経営を一層推進し、市場評価の向上を図る

自己株式の取得		
取得し得る株式の総数	120 万株(上限)	発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合1.49%
株式の取得価額の総額	10 億円(上限)	
取得期間	2026年8月7日より2026年8月31日まで	

自己株式の消却		
消却する株式の総数	90 万株	消却前の発行済株式総数(自己株式を含む)に対する割合1.11%
消却日	2026年9月11日	

(ご参考) 2026年8月31日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数(自己株式を除く)	79,437,645株
自己株式数	1,348,651株

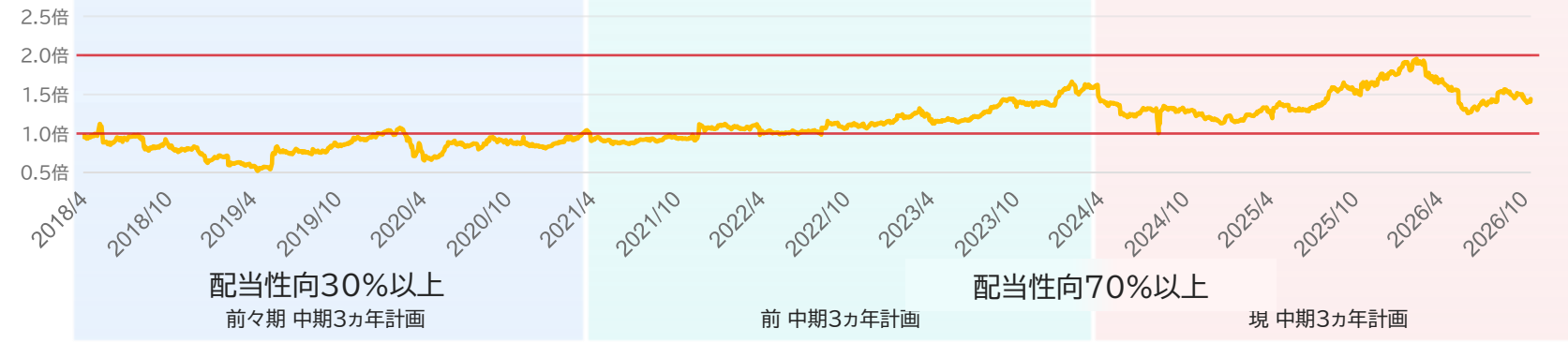
© 2026 Asanuma Corporation.

3. 株主還元　②株価騰落率・PBR推移

- 直近の株価騰落率推移（2期前の中期3ヵ年計画開始時からの約8年分）。参考にTOPIXと比較
- 2026年のTOPIX構成銘柄選定ルールの変更後も、当社株式は引き続きTOPIX構成銘柄に採用

騰落率推移

PBR推移



株価情報

2026/10/16終値	864円
時価総額	690億円
PBR	1.44倍
PER	13.46倍
1株配当（会社予想）	45.0円
配当利回り	5.21%

＊株価情報に関する数値は、Yahoo!ファイナンス参考

© 2026 Asanuma Corporation.

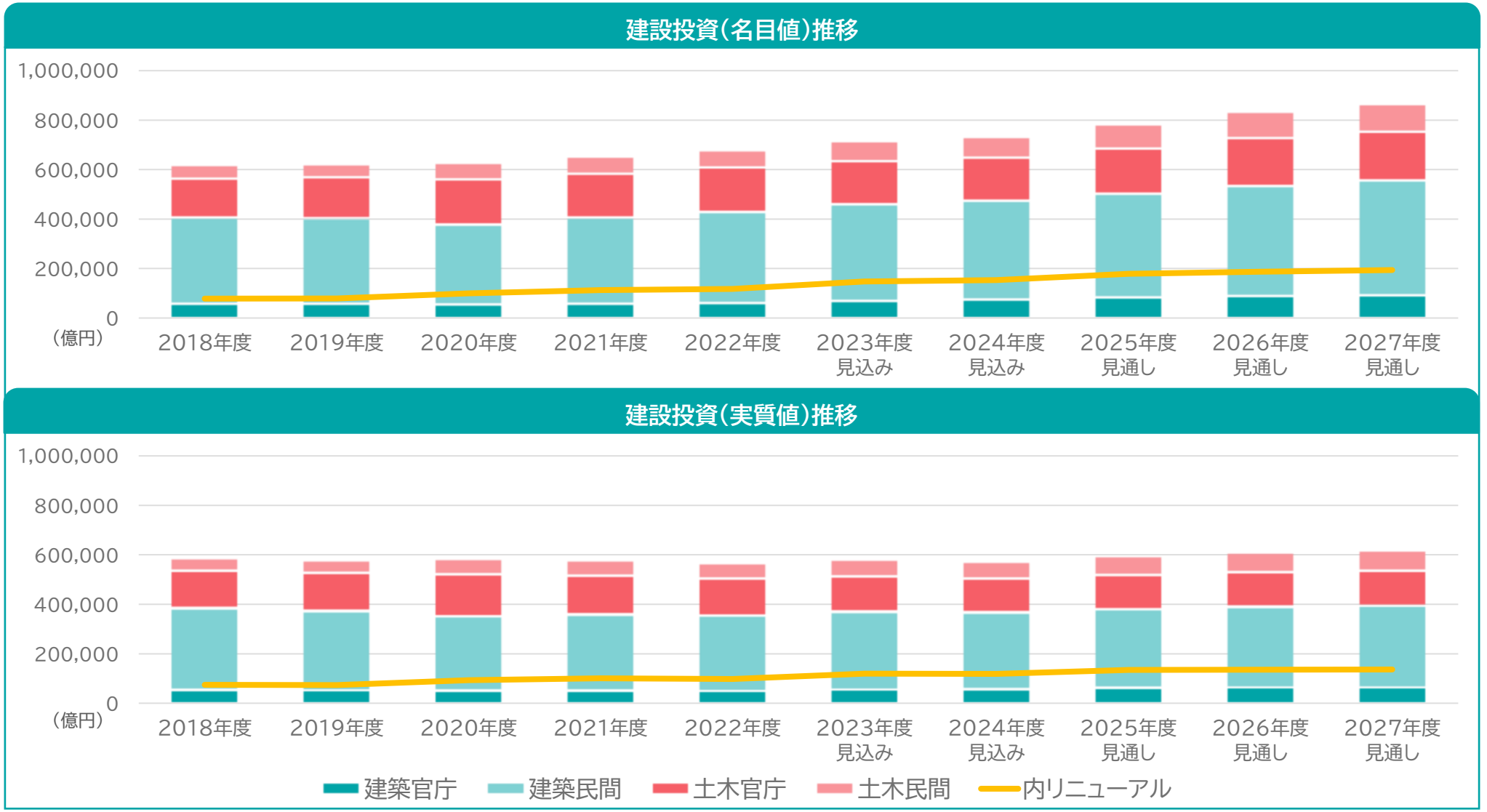
Appendix

© 2026 Asanuma Corporation.

Appendix（別紙）1/15

建設経済モデルによる建設投資の見通し

- 2026年度は、政府分野、民間非住宅分野、リニューアル分野は堅調に推移し、名目値では前年度比増加、実質値では前年度比で微増と予測
- 2027年度は、民間住宅分野の回復が一巡するが、政府・民間非住宅・リニューアル分野は堅調推移。名目値では増加、実質値では微増と予測



建設経済研究所発行「建設経済モデルによる建設投資の見通し」2026年7月27日発行号参考（実質値については2015年度基準のデフレーターを用いて算出されています）

© 2026 Asanuma Corporation.

2025年度 業績(連結)

受注高・売上高・利益はいずれも前年を上回り、増収増益にて着地。計画比では、2026年2月10日開示の修正計画にはわずかに未達となったものの、期初計画は達成

受注高： 国内建築においては倉庫の新築に加えてIR案件（統合型リゾート）、及び事務所のリニューアル、また国内土木においては電線路やダム等、建築・土木共に多数の大型案件が積み上がり前期比 +36,530百万円（同 +20.2%）

売上高： 国内建築は、リニューアル工事における前年度の大型工事完成の反動による減少を主因に、前期比微減収（同△3.1%）、
一方、国内土木および海外子会社Evergreen社の売上高が前期比増加し、全体では前期比＋8,288百万円（同+5.0%）の増収

利　益： 売上高の増加に加え、受注時の「選別受注」による売上総利益率の向上（前期比+0.4P）により、売上総利益は前期比+1,600百万円（同+8.9%）。
販管費は、管理体制の変更やベア等による国内人件費の増加により、前期比+1,256百万円（同+11.3%）となったが、
営業利益は前期比+343百万円（同+5.0%）、経常利益は前期比+503百万円（同+7.7%）、当期利益は前期比+489百万円（同+10.4%）といずれも前期比増益にて着地

配　当： 上記の結果、年間配当は1株あたり45.0円を予定。期初計画41.5円より+3.5円の増配、前期比+4.0円の増配

■損益計算書

	2024/3期 実績	2025/3期 実績	2026/3期 期初計画	2026/3期 修正計画（※1）	2026/3期 実績	2026/3期 前期比	2026/3期 期初計画比	2026/3期 修正計画比
受注高	177,366	180,624	151,500	197,500	**217,155**	36,530	65,655	19,655
売上高	152,676	167,005	170,300	174,600	**175,294**	8,288	4,994	694
完成工事高	149,415	163,661	167,200	171,000	**171,518**	7,857	4,318	518
その他	3,261	3,344	3,100	3,600	**3,776**	431	676	176
売上総利益	14,149	17,991	18,320	19,940	**19,592**	1,600	1,272	△347
率	9.3%	10.8%	10.8%	11.4%	**11.2%**	0.4P	0.4P	△0.2P
完成工事利益	13,161	17,081	17,560	18,940	**18,502**	1,420	942	△437
率	8.8%	10.4%	10.5%	11.1%	**10.8%**	0.4P	0.3P	△0.3P
その他利益	988	909	760	1,000	**1,089**	179	329	89
率	30.3%	27.2%	24.5%	27.8%	**28.9%**	1.7P	4.4P	1.1P
販管費	10,091	11,124	11,290	12,390	**12,380**	1,256	1,090	△9
営業利益	4,057	6,867	7,030	7,550	**7,211**	343	181	△338
率	2.7%	4.1%	4.1%	4.3%	**4.1%**	0.0P	0.0P	△0.2P
経常利益	4,306	6,545	6,820	7,370	**7,048**	503	228	△321
率	2.8%	3.9%	4.0%	4.2%	**4.0%**	0.1P	0.0P	△0.2P
親会社株主に帰属する当期純利益	4,670	4,692	4,770	5,000	**5,181**	489	411	181
率	3.1%	2.8%	2.8%	2.9%	**3.0%**	0.2P	0.2P	0.1P

※1 修正計画は、2026年2月10日開示の数値を記載しています。

配当（実績・予定）	※2 40.6円	41.0円	41.5円	43.5円	**45.0円**	4.0円	3.5円	1.5円
配当性向	70.0%	70.4%	70.1%	70.1%	**70.0%**	△0.4P	△0.1P	△0.1P

※2 当社は、2024年8月1日を効力発生日として、普通株式１株につき５株の割合を持って分割しました。
2024年3月期の1株当たりの配当実績については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しています。

投下資本利益率（ROIC）	4.5%	7.1%	7.2%	7.6%	**7.8%**	0.7P	0.6P	0.2P
自己資本利益率（ROE）	10.2%	10.1%	10.3%	10.6%	**10.9%**	0.8P	0.6P	0.3P
資本コスト（WACC）	4.1%	4.1%	4.1%	4.1%	**4.5%**	0.4P	0.4P	0.4P
株主資本コスト	4.9%	5.5%	5.5%	5.5%	**5.1%**	△0.4P	△0.4P	△0.4P

■貸借対照表

（単位：百万円）

	2024/3期 実績	2025/3期 実績	2026/3期 実績	2026/3期 前期比
資産合計	101,251	115,240	**118,176**	2,935
流動資産	83,229	97,664	**98,578**	913
固定資産	18,022	17,576	**19,598**	2,022
負債合計	52,545	69,102	**67,970**	△1,131
内　借入金（社債含）	14,984	21,558	**14,221**	△7,336
流動負債	45,181	52,885	**51,062**	△1,823
内短期借入金（社債含）	12,126	9,946	**1,358**	△8,587
固定負債	7,363	16,216	**16,908**	691
内長期借入金（社債含）	2,858	11,611	**12,863**	1,251
純資産	48,705	46,138	**50,205**	4,067
株主資本	44,251	42,411	**44,284**	1,873
その他の包括利益	3,371	3,296	**5,474**	2,177
非支配株主分	1,083	430	**446**	15

自己資本比率	47.0%	39.7%	**42.1%**	2.4P

■キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,169	5,184	**18,414**	13,230
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,649	△784	**△799**	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,410	△913	**△11,016**	△10,103
現金および現金同等物に期末残高	13,031	16,833	**23,647**	6,814

© 2026 Asanuma Corporation.

Appendix（別紙）3/15

2025年度　業績(個別)

■損益計算書

	2024/3期	2025/3期	2026/3期					
	実績	実績	期初計画	修正計画（※）	実績	前期比	期初計画比	修正計画比
受注高	168,393	169,334	144,000	190,000	**208,197**	38,862	64,197	18,197
建築	146,168	143,828	120,000	160,000	**172,786**	28,958	52,786	12,786
土木	22,224	25,506	24,000	30,000	**35,410**	9,904	11,410	5,410
売上高	142,156	155,720	157,100		**158,596**	2,876	1,496	
完成工事高	141,737	155,275	156,700		**158,108**	2,832	1,408	
建築	121,979	134,318	132,700		**130,144**	△4,174	△2,555	
土木	19,757	20,957	24,000		**27,964**	7,007	3,964	
その他	419	445	400		**488**	43	88	
売上総利益	11,374	15,647	15,970		**16,656**	1,008	686	
率	8.0%	10.0%	10.2%		**10.5%**	0.5P	0.3P	
完成工事利益	11,246	15,510	15,840		**16,488**	978	648	
率	7.9%	10.0%	10.1%		**10.4%**	0.4P	0.3P	
建築	8,750	12,916	-		**13,650**	733	-	
率	7.2%	9.6%	-		**10.5%**	0.9P	-	
土木	2,496	2,593	-		**2,838**	244	-	
率	12.6%	12.4%	-		**10.1%**	△2.3P	-	
その他利益	128	137	130		**167**	29	37	
率	30.5%	31.0%	32.5%		**34.3%**	3.3P	1.8P	
販管費	9,068	9,714	9,700		**10,737**	1,023	1,037	
人件費	5,158	5,228	-		**6,112**	884	-	
経費	3,910	4,486	-		**4,625**	139	-	
営業利益	2,305	5,933	6,270		**5,918**	△14	△351	
率	1.6%	3.8%	4.0%		**3.7%**	△0.1P	△0.3P	
経常利益	2,568	5,472	6,540		**6,453**	980	△86	
率	1.8%	3.5%	4.2%		**4.1%**	0.6P	△0.1P	
当期純利益	3,639	3,949	4,770		**4,928**	978	158	
率	2.6%	2.5%	3.0%		**3.1%**	0.6P	0.1P	

※ 修正計画は、2026年2月10日開示の数値を記載しています。（受注のみ修正）

■貸借対照表

（単位：百万円）

	2024/3期	2025/3期	2026/3期		
	実績	実績	実績	前期比	増減率
資産合計	92,463	107,963	**109,077**	1,114	1.0%
流動資産	73,119	86,053	**85,144**	△909	△1.1%
固定資産	19,343	21,910	**23,933**	2,023	9.2%
負債合計	47,537	64,005	**62,453**	△1,551	△2.4%
内　借入金（社債含）	13,100	20,000	**13,000**	△7,000	△35.0%
流動負債	41,932	49,286	**46,286**	△2,999	△6.1%
内短期借入金（社債含）	11,800	9,610	**1,010**	△8,600	△89.5%
固定負債	5,604	14,719	**16,167**	1,447	9.8%
内長期借入金（社債含）	1,300	10,390	**11,990**	1,600	15.4%
純資産	44,926	43,958	**46,623**	2,665	6.1%
株主資本	42,528	41,928	**43,548**	1,619	3.9%
評価・換算差額等	2,398	2,029	**3,075**	1,046	51.6%

自己資本比率	48.6%	40.7%	**42.7%**	2.0P	-

© 2026 Asanuma Corporation.

2025年度　関係会社の状況

SINGAPORE PAINTS	：直近2期の受注の苦戦により、売上高・利益ともに前期比減、計画未達
EVERGREEN ENGINEERING	：2025年3月期に受注した大型案件も順調に進捗し、売上高・利益ともに前期比・計画比大幅増
その他関係会社	：各社ともに計画通り推移

■連結子会社

（単位：百万円）

	SINGAPORE PAINTS & CONTRACTOR PTE. LTD. 建物塗装・修繕工事請負業 資本金：95百万円 出資比率：80%					
	2025/3期	2026/3期				2027/3期
（損益）	実績	計画	実績	前期比	計画比	計画
売上高	3,758	3,266	**2,896**	△861	△369	2,616
営業利益	284	224	**167**	△117	△56	97
経常利益	307	202	**165**	△142	△36	92
当期純利益	255	168	**132**	△122	△35	76
	2025/3期	2026/3期				2027/3期
（貸借）	実績	計画	**実績**	前期比	計画比	計画
総資産	2,521	-	**2,796**	274	-	-
有利子負債	0	-	**0**	0	-	-
純資産	1,294	-	**1,352**	57	-	-

	EVERGREEN ENGINEERING & CONSTRUCTION PTE. LTD. 設備工事業、建物メンテナンス業 資本金：389百万円 出資比率：100%					
	2025/3期	2026/3期				2027/3期
（損益）	実績	計画	実績	前期比	計画比	計画
売上高	6,708	9,144	**12,968**	6,260	3,824	8,337
営業利益	895	994	**1,467**	571	473	1,068
経常利益	1,058	1,126	**1,606**	548	480	1,166
当期純利益	891	935	**1,340**	449	405	968
	2025/3期	2026/3期				2027/3期
（貸借）	実績	計画	**実績**	前期比	計画比	計画
総資産	6,800	-	**8,963**	2,163	-	-
有利子負債	-	-	**-**	-	-	-
純資産	5,047	-	**6,150**	1,103	-	-

	浅沼建物（株） 損害保険代理業 資本金：20百万円 出資比率：100%					
	2025/3期	2026/3期				2027/3期
（損益）	実績	計画	実績	前期比	計画比	計画
売上高	231	190	**233**	2	43	210
営業利益	100	30	**77**	△23	47	51
経常利益	100	30	**77**	△23	47	51
当期純利益	62	20	**51**	△10	31	35
	2025/3期	2026/3期				2027/3期
（貸借）	実績	計画	**実績**	前期比	計画比	計画
総資産	437	-	**383**	△54	-	-
有利子負債	-	-	**-**	-	-	-
純資産	328	-	**320**	△8	-	-

■連結子会社（ＰＦＩ事業）

	ＰＦＩ事業（３社）　合計					
	2025/3期	2026/3期				2027/3期
（損益）	実績	計画	実績	前期比	計画比	計画
売上高	592	604	**604**	12	0	585
営業利益	19	3	**3**	△15	0	6
経常利益	21	4	**5**	△15	1	8
当期純利益	16	2	**3**	△13	1	6
	2025/3期	2026/3期				2027/3期
（貸借）	実績	計画	**実績**	前期比	計画比	計画
総資産	2,265	-	**1,915**	△350	-	-
有利子負債	1,655	-	**1,306**	△348	-	-
うち 親会社（当社）貸付額	97	-	**85**	△12	-	-
純資産	300	-	**303**	3	-	-

＜ＰＦＩ関連事業の概要＞

名称	資本金	当社 出資比率	関係内容他
宇都宮郷の森斎場（株）	10	42.5%	当社が資金の貸付を行っている
桜井給食ファシリティーズ（株）	10	50.0%	当社が資金の貸付を行っている
小田原斎場ＰＦＩ（株）	10	40.0%	当社が資金の貸付を行っている

© 2026 Asanuma Corporation.

2025年度　業績予想(連結・個別)

受注高：　2025年3月期・2026年3月期の受注は好調であり繰越工事を潤沢に抱えるため、受注額の追及ではなくより一層の「選別受注」を推進。また、2026/3期に受注したIR（統合型リゾート）等の大型案件の剥落も加味し、2026年3月期比減少計画
売上高：　国内における豊富な繰越工事の着実な進捗により、2026年3月期と同水準を維持
利　益：　引き続き選別受注を徹底することで利益率の向上を図り、当期純利益ベースでは2026年3月期と同水準を維持
配　当：　2026年3月期と同額の1株あたり45.0円にて計画

（単位：百万円）

	連結						個別					
	2025/3期	2026/3期		2027/3期			2025/3期	2026/3期		2027/3期		
	実績	実績	前期比	計画	前々期比	前期比	実績	実績	前期比	計画	前々期比	前期比
受注高	180,624	217,155	36,530	165,400	△15,224	△51,755	169,334	208,197	38,862	156,000	△13,334	△52,197
建築	-	-	-	-	-	-	143,828	172,786	28,958	130,000	△13,828	△42,786
土木	-	-	-	-	-	-	25,506	35,410	9,904	26,000	493	△9,410
売上高	167,005	175,294	8,288	175,500	8,494	205	155,720	158,596	2,876	162,900	7,179	4,303
完成工事高	163,661	171,518	7,857	172,000	8,338	481	155,275	158,108	2,832	162,500	7,224	4,391
建築	-	-	-	-	-	-	134,318	130,144	△4,174	135,000	681	4,855
土木	-	-	-	-	-	-	20,957	27,964	7,007	27,500	6,542	△464
その他	3,344	3,776	431	3,500	155	△276	445	488	43	400	△45	△88
売上総利益	17,991	19,592	1,600	20,260	2,268	667	15,647	16,656	1,008	17,750	2,102	1,093
率	10.8%	11.2%	0.4P	11.5%	0.7P	0.3P	10.0%	10.5%	0.5P	10.9%	0.9P	0.4P
完成工事利益	17,081	18,502	1,420	19,330	2,248	827	15,510	16,488	978	17,620	2,109	1,131
率	10.4%	10.8%	0.4P	11.2%	0.8P	0.4P	10.0%	10.4%	0.4P	10.8%	0.8P	0.4P
その他利益	909	1,089	179	930	20	△159	137	167	29	130	△7	△37
率	27.2%	28.9%	1.7P	26.6%	△0.6P	△2.3P	31.0%	34.3%	3.3P	32.5%	1.5P	△1.8P
販管費	11,124	12,380	1,256	12,480	1,355	99	9,714	10,737	1,023	10,790	1,075	52
営業利益	6,867	7,211	343	7,780	912	568	5,933	5,918	△14	6,960	1,026	1,041
率	4.1%	4.1%	0.0P	4.4%	0.3P	0.3P	3.8%	3.7%	△0.1P	4.3%	0.5P	0.6P
経常利益	6,545	7,048	503	7,530	984	481	5,472	6,453	980	7,420	1,947	966
率	3.9%	4.0%	0.1P	4.3%	0.4P	0.3P	3.5%	4.1%	0.6P	4.6%	1.1P	0.5P
親会社株主に帰属する	4,692	5,181	489	5,180	487	△1	3,949	4,928	978	5,340	1,390	411
当期純利益（連結） 率	2.8%	3.0%	0.2P	3.0%	0.2P	△0.0P	2.5%	3.1%	0.6P	3.3%	0.8P	0.2P
配当（実績・予想）	※ 41.0円	※ 45.0円	4.0円	※ 45.0円	4.0円	0.0円						
配当性向	70.4%	70.0%	△0.4P	70.0%	△0.4P	0.0P						

※ 当社は、2025年3月期より中間配当制度を導入いたしました。2025年3月期は15.0円/株、2026年3月期は16.0円/株、各第2四半期末に中間配当を実施いたしました。
2027年3月期は、期初配当予測　45.0円/株の内、第2四半期末に17.0円/株の中間配当を予想しております。

© 2026 Asanuma Corporation.

2025年度　受注の状況(個別)

（単位：百万円）

	2025/3期 実績	2025/3期 構成比	2026/3期 実績	2026/3期 構成比	2026/3期 前期比
■発注者別（建築）					
国	10,951	48.9%	**3,919**	12.5%	△7,031
独立行政法人等	8,089	36.1%	**20,568**	65.4%	12,479
中央	19,040	85.1%	**24,488**	77.9%	5,447
都道府県	143	0.6%	**1,996**	6.4%	1,853
市区町村等	3,198	14.3%	**4,943**	15.7%	1,745
地方	3,341	14.9%	**6,940**	22.1%	3,599
官庁	22,381	100.0%	**31,428**	100.0%	9,047
食品工業	194	0.2%	**492**	0.3%	297
化学工業	6,643	5.5%	**4,361**	3.1%	△2,281
鉄鋼業	1,190	1.0%	**275**	0.2%	△914
電気機械工業	330	0.3%	**44**	0.0%	△285
輸送用機械工業	8,882	7.3%	**9,489**	6.7%	606
その他機械工業	10,409	8.6%	**4,801**	3.4%	△5,607
その他製造業	1,002	0.8%	**2,917**	2.1%	1,915
製造業	28,653	23.6%	**22,383**	15.8%	△6,270
鉱業・建設業	13,086	10.8%	**7,337**	5.2%	△5,748
電気・ガス・熱供給・水道業	1	0.0%	**10**	0.0%	8
情報通信業	990	0.8%	**2,751**	1.9%	1,761
運輸業	10,375	8.5%	**2,574**	1.8%	△7,801
卸売・小売業	2,121	1.7%	**4,418**	3.1%	2,297
金融・保険業	267	0.2%	**145**	0.1%	△121
不動産業	54,182	44.6%	**59,899**	42.4%	5,717
サービス業	10,114	8.3%	**40,786**	28.9%	30,671
その他	1,653	1.4%	**1,049**	0.7%	△604
非製造業	92,793	76.4%	**118,974**	84.2%	26,181
民間	121,446	100.0%	**141,357**	100.0%	19,911
合計	143,828		**172,786**		28,958

（単位：百万円）

	2025/3期 実績	2025/3期 構成比	2026/3期 実績	2026/3期 構成比	2026/3期 前期比
■発注者別（土木）					
国	3,495	17.9%	**8,706**	54.6%	5,211
独立行政法人等	1,850	9.5%	**4,485**	28.1%	2,634
中央	5,345	27.3%	**13,191**	82.7%	7,845
都道府県	1,974	10.1%	**630**	4.0%	△1,343
市区町村等	12,232	62.6%	**2,127**	13.3%	△10,104
地方	14,206	72.7%	**2,758**	17.3%	△11,448
官庁	19,552	100.0%	**15,949**	100.0%	△3,602
食品工業	-	-	**-**	-	-
化学工業	-	-	**-**	-	-
鉄鋼業	-	-	**-**	-	-
電気機械工業	-	-	**-**	-	-
輸送用機械工業	-	-	**-**	-	-
その他機械工業	-	-	**-**	-	-
その他製造業	-	-	**-**	-	-
製造業	-	-	**-**	-	-
鉱業・建設業	551	9.3%	**987**	5.1%	435
電気・ガス・熱供給・水道業	984	16.5%	**9,600**	49.3%	8,616
情報通信業	-	0.0%	**-**	0.0%	-
運輸業	2,961	49.7%	**4,569**	23.5%	1,608
卸売・小売業	3	0.1%	**-**	0.0%	△3
金融・保険業	-	0.0%	**-**	0.0%	-
不動産業	625	10.5%	**2,614**	13.4%	1,988
サービス業	828	13.9%	**1,689**	8.7%	860
その他	0	0.0%	**-**	0.0%	0
非製造業	5,954	100.0%	**19,460**	100.0%	13,506
民間	5,954	100.0%	**19,460**	100.0%	13,506
合計	25,506		**35,410**		9,904

© 2026 Asanuma Corporation.

Appendix（別紙）7/15

2025年度　受注の状況(個別)

（単位：百万円）

	2025/3期 実績	2025/3期 構成比	2026/3期 実績	2026/3期 構成比	2026/3期 前期比
■用途別（建築）					
事務所	23,787	16.5%	**25,933**	15.0%	2,146
宿泊	4,535	3.2%	**26,158**	15.1%	21,623
店舗・娯楽	6,416	4.5%	**3,510**	2.0%	△2,905
工場	30,787	21.4%	**14,745**	8.5%	△16,042
倉庫	25,845	18.0%	**49,274**	28.5%	23,429
住宅	29,014	20.2%	**27,483**	15.9%	△1,531
教育研究	6,922	4.8%	**18,888**	10.9%	11,965
医療福祉	2,268	1.6%	**2,377**	1.4%	109
その他	14,250	9.9%	**4,413**	2.6%	△9,837
建築	143,828	100.0%	**172,786**	100.0%	28,958
事務所	19,933	15.8%	**15,014**	10.3%	△4,919
宿泊	2,180	1.7%	**25,679**	17.7%	23,498
店舗・娯楽	2,818	2.2%	**2,264**	1.6%	△553
工場	28,050	22.2%	**8,492**	5.8%	△19,558
倉庫	25,785	20.4%	**48,902**	33.6%	23,117
住宅	28,635	22.6%	**26,010**	17.9%	△2,625
教育研究	4,946	3.9%	**15,124**	10.4%	10,177
医療福祉	1,920	1.5%	**458**	0.3%	△1,462
その他	12,271	9.7%	**3,436**	2.4%	△8,834
建築（新築）	126,543	100.0%	**145,383**	100.0%	18,840
事務所	3,853	22.3%	**10,918**	39.8%	7,065
宿泊	2,354	13.6%	**479**	1.7%	△1,875
店舗・娯楽	3,598	20.8%	**1,246**	4.5%	△2,351
工場	2,737	15.8%	**6,253**	22.8%	3,515
倉庫	60	0.3%	**372**	1.4%	312
住宅	378	2.2%	**1,472**	5.4%	1,094
教育研究	1,975	11.4%	**3,764**	13.7%	1,788
医療福祉	347	2.0%	**1,919**	7.0%	1,571
その他	1,979	11.5%	**976**	3.6%	△1,003
建築（リニューアル）	17,285	100.0%	**27,402**	100.0%	10,117

（単位：百万円）

	2025/3期 実績	2025/3期 構成比	2026/3期 実績	2026/3期 構成比	2026/3期 前期比
■用途別（土木）					
治山治水	254	1.0%	**6,260**	17.7%	6,005
鉄道	3,004	11.8%	**4,535**	12.8%	1,531
上下水道	10,193	40.0%	**1,946**	5.5%	△8,247
造成	1,574	6.2%	**6,093**	17.2%	4,519
道路	3,957	15.5%	**4,323**	12.2%	366
電線路	912	3.6%	**9,588**	27.1%	8,675
その他	5,608	22.0%	**2,662**	7.5%	△2,946
土木	25,506	100.0%	**35,410**	100.0%	9,904
■地域別（建築・土木）					
北海道	3,587	2.1%	**6,704**	3.2%	3,116
東北	11,393	6.7%	**4,283**	2.1%	△7,109
関東・甲信越	53,914	31.8%	**68,233**	32.8%	14,318
中部・北陸	21,513	12.7%	**20,266**	9.7%	△1,247
近畿	49,981	29.5%	**84,924**	40.8%	34,942
中国・四国	11,427	6.7%	**10,764**	5.2%	△662
九州・沖縄	17,103	10.1%	**13,070**	6.3%	△4,032
海外	412	0.2%	**△49**	0.0%	△462
合計	169,334	100.0%	**208,197**	100.0%	38,862

※2025年3月期までは本支店ごとに区分しておりましたが、2026年3月期より施工場所ごとに区分しております。

■規模別（建築・土木）　※新規受注のみ

	2025/3期 件数	2025/3期 実績	2025/3期 構成比	2026/3期 件数	2026/3期 実績	2026/3期 構成比	2026/3期 前期比
5億円未満	614	13,572	9.0%	626	**12,402**	6.7%	△1,169
5億以上 10億未満	10	7,345	4.9%	6	**4,577**	2.5%	△2,767
10億以上 30億未満	25	39,847	26.5%	22	**37,278**	20.0%	△2,569
30億以上 50億未満	11	43,100	28.6%	13	**51,627**	27.7%	8,527
50億以上	7	46,701	31.0%	8	**80,204**	43.1%	33,502
合計	667	150,567	100.0%	675	**186,091**	100.0%	35,523

© 2026 Asanuma Corporation.

Appendix（別紙）8/15

2025年度 完成工事の状況(個別)

（単位：百万円）

■発注者別（建築）

	2025/3期 実績	2025/3期 構成比	2026/3期 実績	2026/3期 構成比	2026/3期 前期比
国	375	3.3%	**1,354**	9.6%	978
独立行政法人等	5,376	46.6%	**4,845**	34.5%	△531
中央	5,752	49.8%	**6,200**	44.1%	447
都道府県	289	2.5%	**926**	6.6%	636
市区町村等	5,503	47.7%	**6,930**	49.3%	1,426
地方	5,793	50.2%	**7,856**	55.9%	2,063
官庁	11,545	100.0%	**14,056**	100.0%	2,510
食品工業	3,505	2.9%	**528**	0.5%	△2,976
化学工業	3,002	2.4%	**5,248**	4.5%	2,245
鉄鋼業	517	0.4%	**1,060**	0.9%	543
電気機械工業	1,572	1.3%	**348**	0.3%	△1,224
輸送用機械工業	10,524	8.6%	**7,334**	6.3%	△3,190
その他機械工業	17,036	13.9%	**3,698**	3.2%	△13,337
その他製造業	1,034	0.8%	**2,355**	2.0%	1,320
製造業	37,192	30.3%	**20,573**	17.7%	△16,618
鉱業・建設業	4,344	3.5%	**11,396**	9.8%	7,051
電気・ガス・熱供給・水道業	1	0.0%	**10**	0.0%	8
情報通信業	168	0.1%	**855**	0.7%	687
運輸業	11,027	9.0%	**10,062**	8.7%	△964
卸売・小売業	911	0.7%	**1,433**	1.2%	522
金融・保険業	1,758	1.4%	**521**	0.4%	△1,237
不動産業	57,479	46.8%	**59,052**	50.9%	1,573
サービス業	5,470	4.5%	**7,956**	6.9%	2,486
その他	4,418	3.6%	**4,223**	3.6%	△194
非製造業	85,580	69.7%	**95,513**	82.3%	9,933
民間	122,772	100.0%	**116,087**	100.0%	△6,684
合計	134,318		**130,144**		△4,174

（単位：百万円）

■発注者別（土木）

	2025/3期 実績	2025/3期 構成比	2026/3期 実績	2026/3期 構成比	2026/3期 前期比
国	2,837	23.5%	**5,080**	30.8%	2,242
独立行政法人等	3,405	28.2%	**4,144**	25.2%	738
中央	6,243	51.6%	**9,224**	56.0%	2,981
都道府県	32	0.3%	**772**	4.7%	740
市区町村等	5,815	48.1%	**6,475**	39.3%	659
地方	5,848	48.4%	**7,247**	44.0%	1,399
官庁	12,091	100.0%	**16,472**	100.0%	4,381
食品工業	-	-	**-**	-	-
化学工業	-	-	**-**	-	-
鉄鋼業	-	-	**-**	-	-
電気機械工業	-	-	**-**	-	-
輸送用機械工業	-	-	**-**	-	-
その他機械工業	-	-	**-**	-	-
その他製造業	-	-	**-**	-	-
製造業	-	-	**-**	-	-
鉱業・建設業	609	6.9%	**884**	7.7%	275
電気・ガス・熱供給・水道業	1,861	21.0%	**2,392**	20.8%	530
情報通信業	-	0.0%	**-**	0.0%	-
運輸業	4,087	46.1%	**4,911**	42.7%	823
卸売・小売業	5	0.1%	**-**	0.0%	△5
金融・保険業	-	0.0%	**-**	0.0%	-
不動産業	1,354	15.3%	**2,384**	20.8%	1,030
サービス業	832	9.4%	**918**	8.0%	86
その他	115	1.3%	**-**	0.0%	△115
非製造業	8,865	100.0%	**11,491**	100.0%	2,625
民間	8,865	100.0%	**11,491**	100.0%	2,625
合計	20,957		**27,964**		7,007

© 2026 Asanuma Corporation.

2025年度 完成工事の状況(個別)

（単位：百万円）

	2025/3期 実績	2025/3期 構成比	2026/3期 実績	2026/3期 構成比	2026/3期 前期比
■用途別（建築）					
事務所	13,979	10.4%	**10,288**	7.9%	△3,691
宿泊	4,917	3.7%	**7,650**	5.9%	2,732
店舗・娯楽	5,454	4.1%	**4,834**	3.7%	△620
工場	34,971	26.0%	**29,191**	22.4%	△5,780
倉庫	32,697	24.3%	**31,293**	24.0%	△1,403
住宅	32,496	24.2%	**28,104**	21.6%	△4,392
教育研究	5,282	3.9%	**11,920**	9.2%	6,637
医療福祉	577	0.4%	**1,674**	1.3%	1,097
その他	3,940	2.9%	**5,186**	4.0%	1,245
建築	134,318	100.0%	**130,144**	100.0%	△4,174
事務所	8,489	7.7%	**8,258**	7.6%	△231
宿泊	3,933	3.6%	**5,948**	5.4%	2,015
店舗・娯楽	2,980	2.7%	**2,007**	1.8%	△973
工場	27,441	24.9%	**24,014**	22.0%	△3,426
倉庫	32,493	29.5%	**31,164**	28.5%	△1,328
住宅	30,115	27.3%	**25,330**	23.2%	△4,784
教育研究	1,523	1.4%	**8,250**	7.6%	6,727
医療福祉	57	0.1%	**974**	0.9%	916
その他	3,090	2.8%	**3,242**	3.0%	151
建築（新築）	110,125	100.0%	**109,190**	100.0%	△934
事務所	5,489	22.7%	**2,029**	9.7%	△3,459
宿泊	984	4.1%	**1,702**	8.1%	717
店舗・娯楽	2,473	10.2%	**2,826**	13.5%	352
工場	7,529	31.1%	**5,176**	24.7%	△2,353
倉庫	204	0.8%	**129**	0.6%	△74
住宅	2,381	9.8%	**2,773**	13.2%	392
教育研究	3,759	15.5%	**3,670**	17.5%	△89
医療福祉	519	2.1%	**700**	3.3%	180
その他	850	3.5%	**1,944**	9.3%	1,094
建築（リニューアル）	24,193	100.0%	**20,953**	100.0%	△3,239

（単位：百万円）

	2025/3期 実績	2025/3期 構成比	2026/3期 実績	2026/3期 構成比	2026/3期 前期比
■用途別（土木）					
治山治水	1,178	5.6%	**1,449**	5.2%	271
鉄道	3,794	18.1%	**5,025**	18.0%	1,230
上下水道	4,155	19.8%	**6,058**	21.7%	1,902
造成	2,353	11.2%	**4,077**	14.6%	1,724
道路	4,124	19.7%	**3,848**	13.8%	△275
電線路	1,831	8.7%	**2,339**	8.4%	508
その他	3,519	16.8%	**5,163**	18.5%	1,644
土木	20,957	100.0%	**27,964**	100.0%	7,007

■地域別（建築・土木）

	2025/3期 実績	2025/3期 構成比	2026/3期 実績	2026/3期 構成比	2026/3期 前期比
北海道	6,443	4.1%	**5,105**	3.2%	△1,338
東北	5,755	3.7%	**5,337**	3.4%	△417
関東・甲信越	62,770	40.4%	**57,649**	36.5%	△5,121
中部・北陸	15,784	10.2%	**20,319**	12.9%	4,534
近畿	41,162	26.5%	**45,722**	28.9%	4,559
中国・四国	9,902	6.4%	**11,911**	7.5%	2,009
九州・沖縄	12,621	8.1%	**11,845**	7.5%	△775
海外	834	0.5%	**217**	0.1%	△617
合計	155,275	100.0%	**158,108**	100.0%	2,832

※2025年3月期までは本支店ごとに区分しておりましたが、2026年3月期より施工場所ごとに区分しております。

■規模別（建築・土木）

	2025/3期 件数	2025/3期 実績	2025/3期 構成比	2026/3期 件数	2026/3期 実績	2026/3期 構成比	2026/3期 前期比
5億円未満	671	16,701	10.8%	645	**12,040**	7.6%	△4,660
5億以上 10億未満	32	11,624	7.5%	35	**12,936**	8.2%	1,312
10億以上 30億未満	78	54,878	35.3%	82	**54,073**	34.2%	△804
30億以上 50億未満	27	31,454	20.3%	30	**28,715**	18.2%	△2,739
50億以上	13	40,617	26.2%	23	**50,342**	31.8%	9,724
合計	821	155,275	100.0%	815	**158,108**	100.0%	2,832

© 2026 Asanuma Corporation.

Appendix（別紙）10/15

2025年度　繰越工事の状況(個別)

（単位：百万円）

	2025/3期 実績	2025/3期 構成比	2026/3期 実績	2026/3期 構成比	2026/3期 前期比
■発注者別（建築）					
国	11,577	38.4%	**14,142**	29.7%	2,564
独立行政法人等	7,347	24.3%	**23,070**	48.5%	15,723
中央	18,925	62.7%	**37,213**	78.3%	18,287
都道府県	3,380	11.2%	**4,451**	9.4%	1,070
市区町村等	7,875	26.1%	**5,889**	12.4%	△1,986
地方	11,255	37.3%	**10,340**	21.7%	△915
官庁	30,181	100.0%	**47,553**	100.0%	17,372
食品工業	50	0.0%	**14**	0.0%	△36
化学工業	5,828	4.7%	**4,942**	3.3%	△886
鉄鋼業	827	0.7%	**41**	0.0%	△785
電気機械工業	321	0.3%	**17**	0.0%	△303
輸送用機械工業	4,306	3.5%	**6,461**	4.4%	2,155
その他機械工業	10,504	8.5%	**4,455**	3.0%	△6,049
その他製造業	374	0.3%	**937**	0.6%	562
製造業	22,213	18.1%	**16,871**	11.4%	△5,342
鉱業・建設業	9,394	7.6%	**5,336**	3.6%	△4,058
電気・ガス・熱供給・水道業	-	0.0%	**-**	0.0%	-
情報通信業	821	0.7%	**2,717**	1.8%	1,896
運輸業	8,257	6.7%	**769**	0.5%	△7,488
卸売・小売業	1,466	1.2%	**4,451**	3.0%	2,985
金融・保険業	396	0.3%	**20**	0.0%	△375
不動産業	69,488	56.5%	**77,487**	52.3%	7,999
サービス業	7,645	6.2%	**40,474**	27.3%	32,829
その他	3,318	2.7%	**144**	0.1%	△3,174
非製造業	100,790	81.9%	**131,403**	88.6%	30,612
民間	123,004	100.0%	**148,274**	100.0%	25,270
合計	153,185		**195,828**		42,642

（単位：百万円）

	2025/3期 実績	2025/3期 構成比	2026/3期 実績	2026/3期 構成比	2026/3期 前期比
■発注者別（土木）					
国	3,453	12.9%	**7,079**	27.1%	3,626
独立行政法人等	6,474	24.3%	**6,815**	26.1%	340
中央	9,927	37.2%	**13,894**	53.1%	3,966
都道府県	1,941	7.3%	**1,799**	6.9%	△141
市区町村等	14,798	55.5%	**10,450**	40.0%	△4,347
地方	16,740	62.8%	**12,250**	46.9%	△4,489
官庁	26,668	100.0%	**26,145**	100.0%	△522
食品工業	-	-	**-**	-	-
化学工業	-	-	**-**	-	-
鉄鋼業	-	-	**-**	-	-
電気機械工業	-	-	**-**	-	-
輸送用機械工業	-	-	**-**	-	-
その他機械工業	-	-	**-**	-	-
その他製造業	-	-	**-**	-	-
製造業	-	-	**-**	-	-
鉱業・建設業	1,826	17.1%	**1,928**	10.4%	102
電気・ガス・熱供給・水道業	1,482	13.9%	**8,690**	46.7%	7,208
情報通信業	-	0.0%	**-**	0.0%	-
運輸業	6,606	62.0%	**6,264**	33.6%	△342
卸売・小売業	-	0.0%	**-**	0.0%	-
金融・保険業	-	0.0%	**-**	0.0%	-
不動産業	746	7.0%	**975**	5.2%	229
サービス業	△3	0.0%	**767**	4.1%	770
その他	-	0.0%	**-**	0.0%	-
非製造業	10,657	100.0%	**18,626**	100.0%	7,969
民間	10,657	100.0%	**18,626**	100.0%	7,969
合計	37,325		**44,772**		7,446

© 2026 Asanuma Corporation.

2025年度　繰越工事の状況(個別)

（単位：百万円）

	2025/3期 実績	2025/3期 構成比	2026/3期 実績	2026/3期 構成比	2026/3期 前期比
■用途別（建築）					
事務所	20,551	13.4%	**36,196**	18.5%	15,645
宿泊	4,308	2.8%	**22,816**	11.7%	18,508
店舗・娯楽	6,619	4.3%	**5,296**	2.7%	△1,323
工場	27,615	18.0%	**13,169**	6.7%	△14,446
倉庫	23,101	15.1%	**41,081**	21.0%	17,980
住宅	46,843	30.6%	**46,222**	23.6%	△620
教育研究	8,642	5.6%	**15,610**	8.0%	6,968
医療福祉	1,968	1.3%	**2,672**	1.4%	703
その他	13,535	8.8%	**12,762**	6.5%	△772
建築	153,185	100.0%	**195,828**	100.0%	42,642
事務所	17,822	13.1%	**24,578**	14.2%	6,756
宿泊	2,804	2.1%	**22,543**	13.0%	19,739
店舗・娯楽	1,732	1.3%	**1,990**	1.1%	257
工場	26,052	19.1%	**11,168**	6.4%	△14,884
倉庫	23,100	16.9%	**40,838**	23.6%	17,737
住宅	44,529	32.7%	**45,209**	26.1%	680
教育研究	6,459	4.7%	**13,333**	7.7%	6,873
医療福祉	1,871	1.4%	**1,355**	0.8%	△515
その他	11,984	8.8%	**12,179**	7.0%	194
建築（新築）	136,358	100.0%	**173,198**	100.0%	36,839
事務所	2,728	16.2%	**11,617**	51.3%	8,889
宿泊	1,503	8.9%	**272**	1.2%	△1,231
店舗・娯楽	4,886	29.0%	**3,306**	14.6%	△1,580
工場	1,562	9.3%	**2,000**	8.8%	438
倉庫	0	0.0%	**243**	1.1%	243
住宅	2,314	13.8%	**1,013**	4.5%	△1,301
教育研究	2,182	13.0%	**2,277**	10.1%	94
医療福祉	97	0.6%	**1,316**	5.8%	1,219
その他	1,550	9.2%	**582**	2.6%	△967
建築（リニューアル）	16,826	100.0%	**22,630**	100.0%	5,803

（単位：百万円）

	2025/3期 実績	2025/3期 構成比	2026/3期 実績	2026/3期 構成比	2026/3期 前期比
■用途別（土木）					
治山治水	207	0.6%	**5,017**	11.2%	4,810
鉄道	6,784	18.2%	**6,294**	14.1%	△489
上下水道	13,451	36.0%	**9,339**	20.9%	△4,112
造成	1,448	3.9%	**3,464**	7.7%	2,016
道路	7,023	18.8%	**7,498**	16.7%	474
電線路	1,442	3.9%	**8,691**	19.4%	7,248
その他	6,967	18.7%	**4,465**	10.0%	△2,501
土木	37,325	100.0%	**44,772**	100.0%	7,446
■地域別（建築・土木）					
北海道	6,744	3.5%	**8,344**	3.5%	1,599
東北	11,224	5.9%	**10,170**	4.2%	△1,054
関東・甲信越	61,324	32.2%	**71,908**	29.9%	10,583
中部・北陸	24,656	12.9%	**24,603**	10.2%	△53
近畿	54,024	28.4%	**93,226**	38.7%	39,201
中国・四国	13,446	7.1%	**12,299**	5.1%	△1,147
九州・沖縄	18,809	9.9%	**20,034**	8.3%	1,224
海外	280	0.1%	**13**	0.0%	△266
合計	190,511	100.0%	**240,600**	100.0%	50,089

※2025年3月期までは本支店ごとに区分しておりましたが、2026年3月期より施工場所ごとに区分しております。

■規模別（建築・土木）

	2025/3期 件数	2025/3期 実績	2025/3期 構成比	2026/3期 件数	2026/3期 実績	2026/3期 構成比	2026/3期 前期比
5億円未満	106	6,011	3.2%	101	**4,813**	2.0%	△1,198
5億以上 10億未満	27	11,409	6.0%	16	**4,857**	2.0%	△6,552
10億以上 30億未満	64	58,592	30.8%	62	**55,595**	23.1%	△2,997
30億以上 50億未満	23	53,770	28.2%	26	**70,837**	29.4%	17,067
50億以上	13	60,726	31.9%	17	**104,496**	43.4%	43,769
合計	233	190,511	100.0%	222	**240,600**	100.0%	50,089

© 2026 Asanuma Corporation.

中期3ヵ年計画　業績・キャッシュアロケーション

- **中期3ヵ年計画の3年間において生み出されるキャッシュ約180～200億円については、投資・株主還元に配分**

Cash In（2024～2026年度）	Cash Out（2024～2026年度）	詳　細
事業上生み出されるキャッシュ 180-200億円（当初計画）	投資 63億円程度	投資
	株主還元 117億円程度	株主還元

投資

- 今中期3ヵ年計画の投資は70億円を計画していたが、2026年5月19日開示のM&Aの金額が固まったことにより3年間の投資額は63億円へと変更見込み
- 主な投資領域はリニューアル事業、DX、技術の強化

投資計画（2024～2026年度）（単位：億円）		2024 実績	2025 実績	2026 計画
投資内容	63	30	3	30
①リニューアル事業の強化	54	27	1	25
国内リニューアルブランド「ReQuality」の推進	12	0	1	11
ASEAN地域でのリニューアル事業の強化	42	28	0	14
②DX推進・システム基盤強化	8	2	2	4
③技術の増強（技術研究所改築、技術開発）	1	-	0	1

株主還元

- 中期3ヵ年計画の株主還元方針である配当性向70%以上を維持し、配当額は当初計画より増配

	2024 実績	2025 実績	2026 計画
1株あたり配当（単位：円）	41.0	45.0	45.0
第2四半期末	15.0	16.0	17.0
期末	26.0	29.0	28.0
配当総額（単位：億円）	45	34	37

© 2026 Asanuma Corporation.

Appendix（別紙）13/15

テーマ毎のKPIの進捗

- 各テーマにおいてKPIを設定。2025年度実績は、2026年度末目標に向け概ね良好な水準。一部目標達成しているテーマもあるが、引続き同水準を維持

	テーマ（3年間で注力すること）	財務・非財務 KPI 2026年度末目標		2025年度実績	2025年度実績に関する補足
1	国内コア事業の強化	顧客満足度スコア	80点以上（直近2期平均）	80.6点 ※2024・2025年度平均 ※3月末時点受領分より算出	・前年に引き続き、高水準を維持（前年比+0.7点）
2	リニューアル事業の強化	連結営業利益におけるリニューアル営業利益	40%以上	49.2%	・2023年度の国内リニューアルにおいて受注した大型案件や、期中内の利益率良好な案件が、2025年度営業利益に寄与
3	人材の獲得・確保・育成	エンゲージメントスコア	70点以上	72.8点	・前年比+3.2点 ・「今の会社で働くことができて本当に良かったと思う」「今の仕事をしているときは、楽しいと感じる」等の項目においてスコアが上昇
4	DX推進	労働1時間あたりの売上総利益	6,000円以上	7,287円	・売上総利益の上昇
5	ガバナンス・コンプライアンス・リスク管理の強化	重大な法令違反件数	0件	0件	・監督官庁に労働災害再発防止対策書を提出 ・全役職員を対象に安全教育をあらためて徹底 ・作業手順の見直しや管理体制の強化等を含めた実効性ある再発防止策に継続的に取り組む
		死亡災害	0件	1件	
6	環境・社会への貢献	CO2排出量総量削減率	Scope 1+2 △15.8%（2023年度比） Scope 3 △9.4%（2023年度比）	△17.4%（2023年度比） △4.6%（2023年度比）	・Scope1+2は目標達成しているが引続き同水準を維持 ・Scope3は順調に推移

© 2026 Asanuma Corporation.

KPIの算出方法・過去実績

	テーマ（3年間で注力すること）	財務・非財務 KPI		算出方法・過去実績
1	国内コア事業の強化	顧客満足度スコア 80点以上（直近2期平均）	算出方法	● 工事成績評定受領先（官庁工事が主） ・ 評定の点数を顧客満足度スコアとする ● 顧客満足度アンケート実施先（民間工事が主） ・ 各設問における回答を右表の通りのスコアに読み替え、平均値を算出 ・ 工事成績評定受領先のスコアとの乖離を埋めるため、上記にて算出した平均値に0.85の掛け目をつけて補正（掛け目は過去実績に基づき算出） ・ 当該年度のアンケート結果を全て受領するまで時間を要すため、当該年度の評価は、当該年度および前年度の2期平均値を適用
			過去実績	● 2022・2023年度平均： 79.7点 ● 2023・2024年度平均： 79.9点 ● 2024・2025年度平均： 80.6点
2	リニューアル事業の強化	連結営業利益におけるリニューアル営業利益 40%以上	算出方法	● リニューアル営業利益（国内・国外）÷連結営業利益（海外リニューアル営業利益についてはのれん金額をマイナス） ● 今後のASEANリニューアル会社M&Aを加味した数字
			過去実績	● 2023年度： 68%（シンガポール子会社の業績が好調だったものによる） ● 2024年度： 45.3% ● 2025年度： 49.2%
3	人材の獲得・確保・育成	エンゲージメントスコア 70点以上	算出方法	● ストレスチェック（全社員対象）において、エンゲージメントに関わる4項目の設問で、回答の4段階の内、上位2つ（下記①②）の割合を点数化 回答：①とても当てはまる ②まあまあ当てはまる ③あまり当てはまらない ④全く当てはまらない
			過去実績	● 2023年度： 68.1点 ● 2024年度： 69.6点 ● 2025年度： 72.8点

アンケート実施先

アンケート回答	スコアへの換算
満足	100点
やや満足	85点
普通	70点
やや不満	55点
不満	40点

© 2026 Asanuma Corporation.

Appendix（別紙）15/15

テーマ（3年間で注力すること）	財務・非財務 KPI	算出方法・過去実績

4 DX推進

財務・非財務 KPI：労働1時間あたりの売上総利益 6,000円以上

算出方法
- 売上総利益（連結）÷全社員の労働時間（個別）

過去実績
- 2023年度：5,230 円 ／労働1時間あたり
- 2024年度：6,722 円／ 労働1時間あたり
- 2025年度：7,287 円／ 労働1時間あたり

5 ガバナンス・コンプライアンス・リスク管理の強化

財務・非財務 KPI：重大な法令違反件数 0件／死亡災害 0件

算出方法
- 重大な法令違反件数
  - 「重大な法令違反」に法的な定義はないことから、当社では原則として下記の通り定義付ける（但し個別性が高いため案件毎に都度判断）
    - ▶ 社会や自社に多大な影響を与える法令違反
    - ▶ 刑事上・行政上の処分（公表されるもの）を受けるに至った法令違反
- 死亡災害件数
  - 1回の災害で複数名亡くなれば、その人数を件数としてみなす（行政報告等のルールに準拠）

過去実績

	2023年度	2024年度	2025年度
重大な法令違反	0件	0件	0件
死亡災害	1件	0件	1件

6 環境・社会への貢献

財務・非財務 KPI：CO2排出量総量削減率
- Scope 1+2 △15.8%（2023年度比）
- Scope 3 △9.4%（2023年度比）

算出方法
- 元より設定していた2030年度・2050年度目標より逆算し、2026年度目標を設定（%は基準年度対比での削減率）

過去実績

対象	単位	基準年度 年度	基準年度 排出量	実績 2024年度	実績 2025年度	計画*2 2026年度	中期目標 2035年度
Scope 1+2	総量 t-CO2（SBT認定）	2023	25,017	21,618 ▲13.6%	20,666 ▲17.4%	21,077 ▲15.8%	9,256 ▲63.0%
Scope 1+2（建設工事のみ対象）	原単位 t-CO2/億円*1	2023	15.7	12.6 ▲19.7%	11.8 ▲24.6%	13.2 ▲15.8%	5.8 ▲63.0%
	総量 t-CO2	2023	22,205	19,557 ▲11.9%	18,720 ▲15.7%	18,708 ▲15.8%	8,216 ▲63.0%
Scope 3	総量 t-CO2（SBT認定）	2023	999,942	737,745 ▲26.2%	954,227 ▲4.6%	906,197 ▲9.4%	624,964 ▲37.5%
Scope 3 カテゴリ11（自社設計+他社設計）	総量 t-CO2	2023	641,933	366,658 ▲42.9%	608,250 ▲5.2%	581,752 ▲9.4%	401,208 ▲37.5%

参考：CO_2のカテゴリー
- **Scope1** 事業活動で発生するCO_2
- **Scope2** 電気ガスの使用による間接排出のCO_2
- **Scope3 カテゴリ11** お客様にお引渡しした建築物の使用時に排出されるCO_2

*1 完工高1億円当たりの排出量
*2 中期計画（2026年度）は、基準年度から中期目標までの直線上での数値にて目標を設定

© 2026 Asanuma Corporation.

MEMO

© 2026 Asanuma Corporation.

MEMO

© 2026 Asanuma Corporation.

株式会社 淺沼組

お問合せ先

株式会社 淺沼組
戦略企画本部
コーポレート・コミュニケーション部

MAIL asanuma_ir@asanuma.co.jp

TEL 06-6585-5500

FAX 06-6585-5556

淺沼組統合報告書2025

https://www.asanuma.co.jp/csr/report.html

コーポレートインスタグラム

ASANUMA_OFFICIAL

本資料に掲載しております計画、予測または見通しなど将来に関する事項は、本資料の発表日現在における当社の戦略、目標、前提または仮定に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の計画、予測または見通しなどと異なる結果となる可能性があります。